

令和5年度区市町村アンケート 結果報告

東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター

調査概要

調査目的

区市町村における通いの場づくりの進捗状況把握

調査時期

令和5年5月16日～6月2日

対象者および調査方法

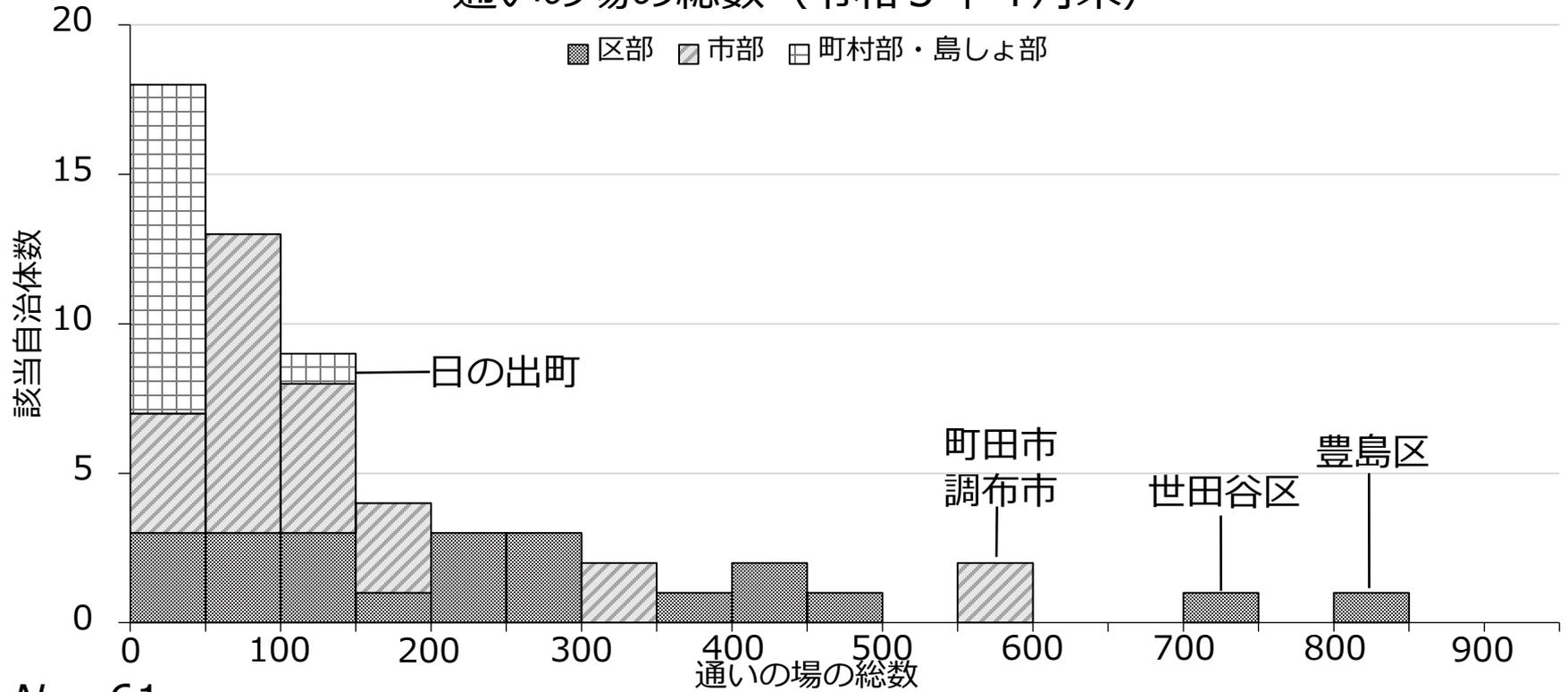
- 都内62自治体の介護予防担当者にメールにてExcelファイルの調査票を送付し、回答を入力したファイルを返送してもらった。
- 62自治体のうち57自治体から期限内に返送された。なお、未返送の場合はヒアリング調査時に尋ねた。
- 未回答項目はそれぞれ含めずに集計した。

通いの場の基本情報

設問 1 ～ 設問13

設問 1 : 各自治体が把握している通いの場の総数

通いの場の総数 (令和5年4月末)



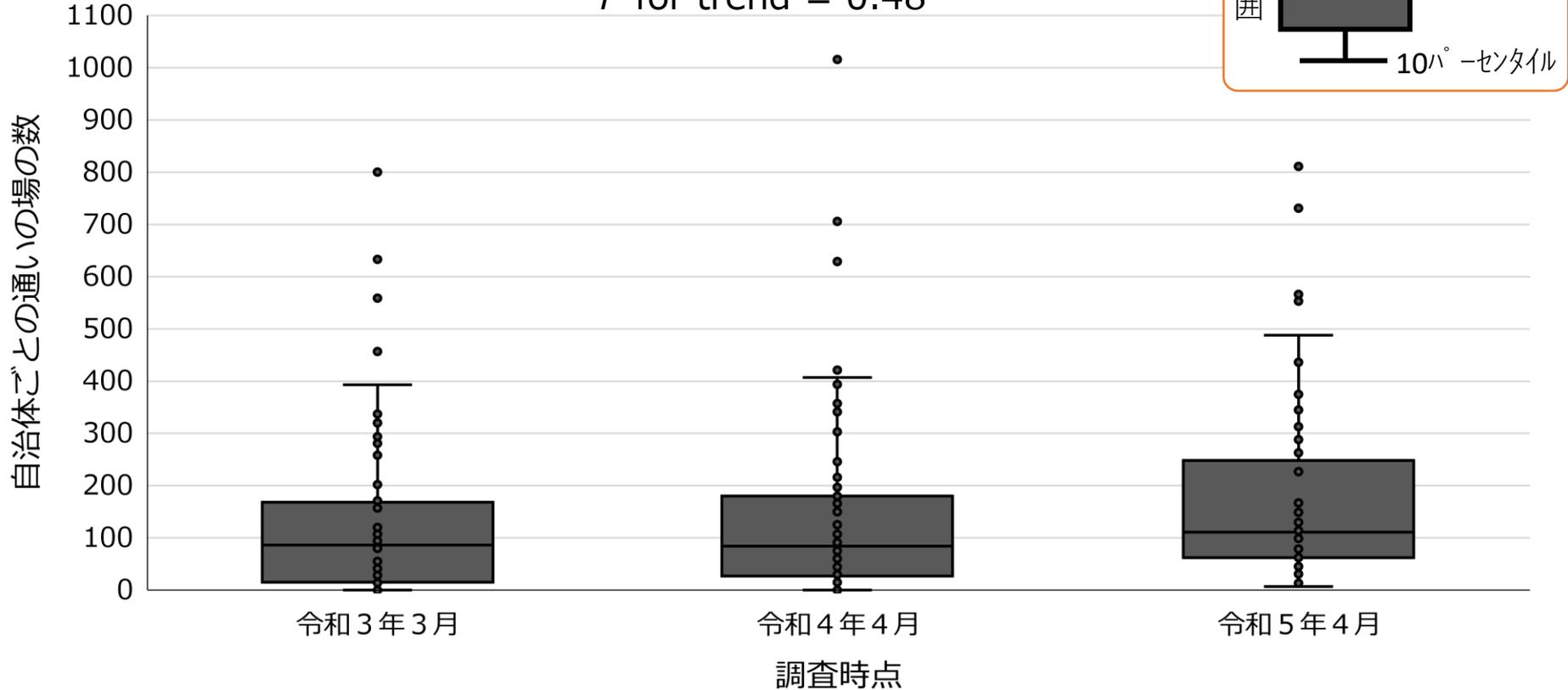
N = 61
(把握していない: 1)

都内全体
中央値: 90
四分位範囲: 31-227

区部	市部	郡部・島しょ部
中央値: 229.5	中央値: 91.5	中央値: 2
四分位範囲: 90-375	四分位範囲: 56-155	四分位範囲: 1-7

設問 1 : (参考:R3、R4年度の結果との比較) 各自治体が把握している通いの場の総数

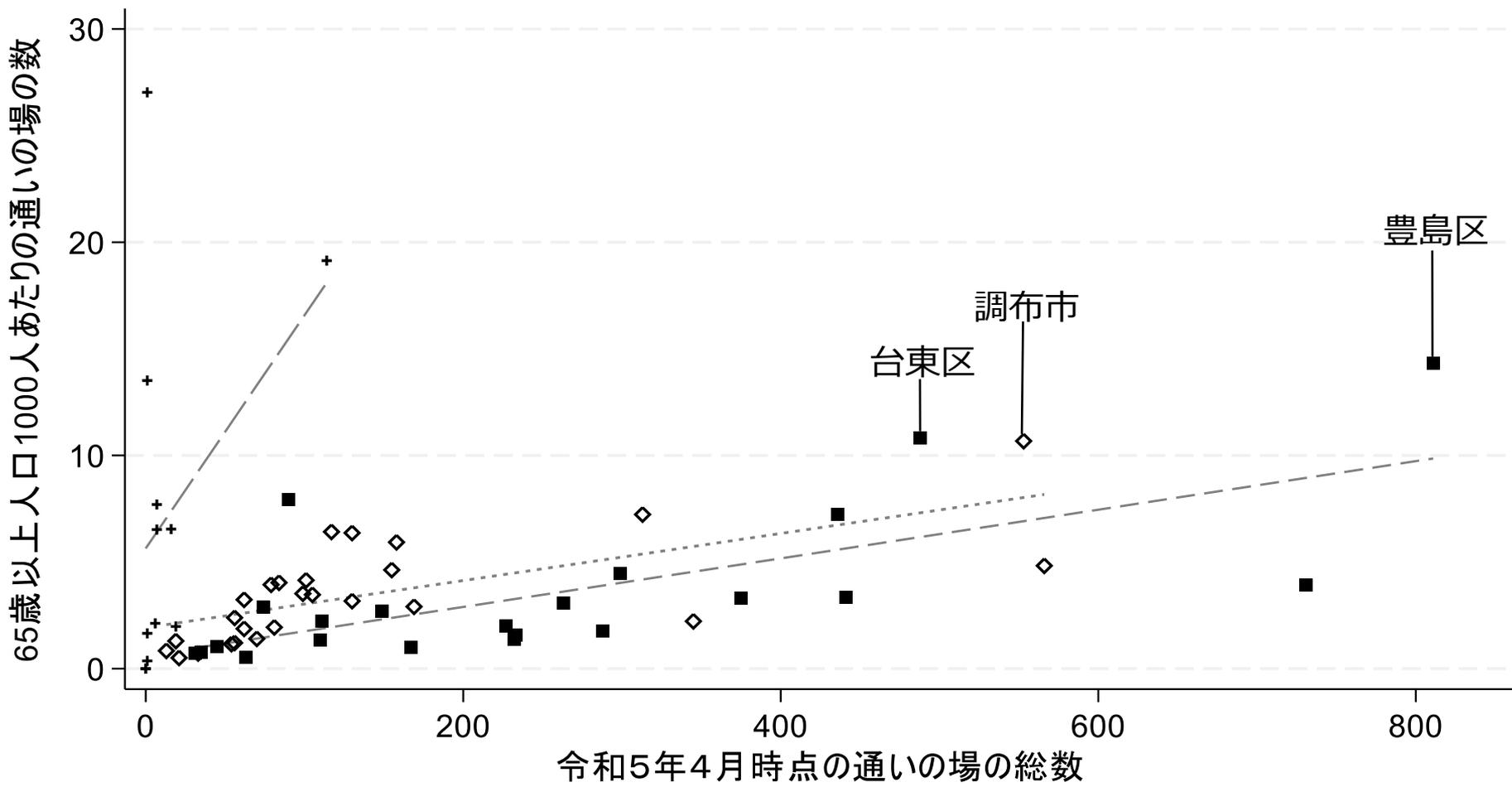
通いの場の数 (令和3～5年度)
 P for trend = 0.48



令和3年度調査時と比較して令和5年度調査時には、
把握している通いの場の数が有意に増加していた ($P = 0.011$) 。

*: 令和3年度調査時の値で調整した線形混合モデルの結果

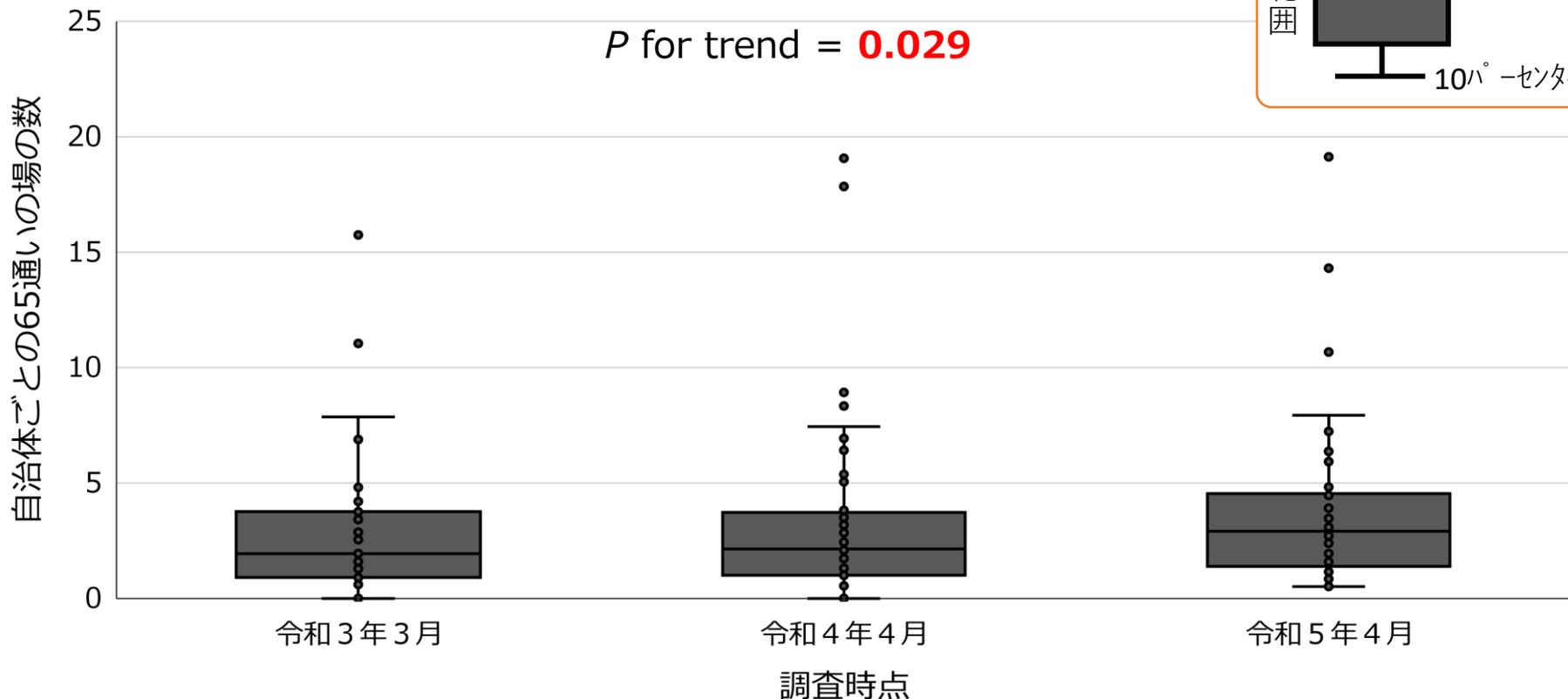
高齢者人口1千人あたりの通いの場の数 (参考:把握している通いの場の総数との比較)



人口は令和5年1月1日時点のデータを用いた (参照: <https://www.toukei.metro.tokyo.lg.jp/juukiy/jy-index.htm>)。

高齢者人口1千人あたりの通いの場の数 (参考: R3、R4年度の結果との比較)

65歳以上人口1000人あたりの通いの場の数
(令和3～5年度)



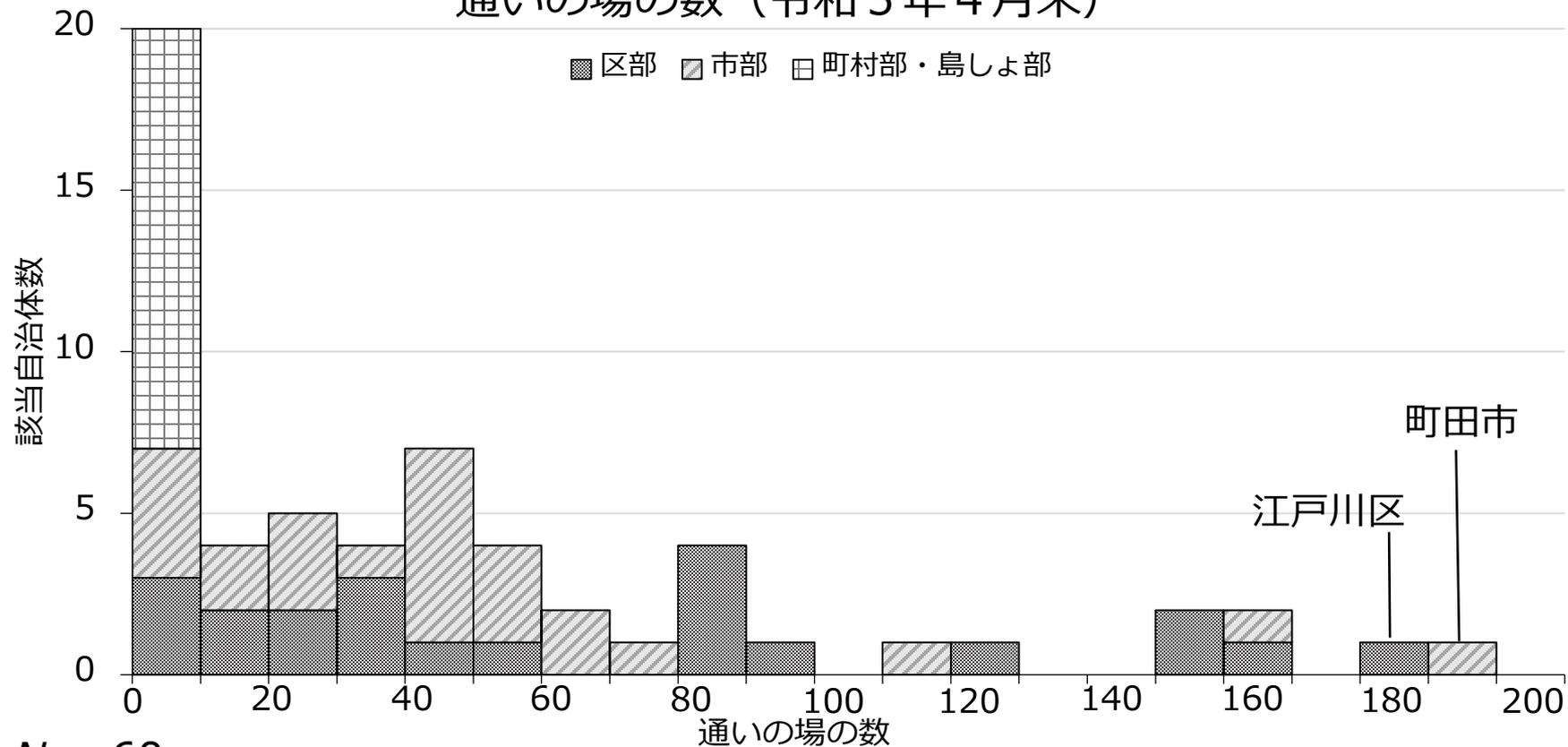
令和3年度調査時と比較して令和5年度調査時には、
人口1千人あたりの通いの場の数が有意に増加しており ($P = 0.001$)、
通いの場の数が増加する有意な傾向が認められた (P for trend = 0.029)。

*: 令和3年度調査時の値で調整した線形混合モデルの結果

人口は各年1月1日時点のデータを用いた (参照: <https://www.toukei.metro.tokyo.lg.jp/juukiy/jy-index.htm>)。

設問 2 : 各自治体の週1回以上の体操の通いの場

通いの場の数 (令和5年4月末)



N = 60

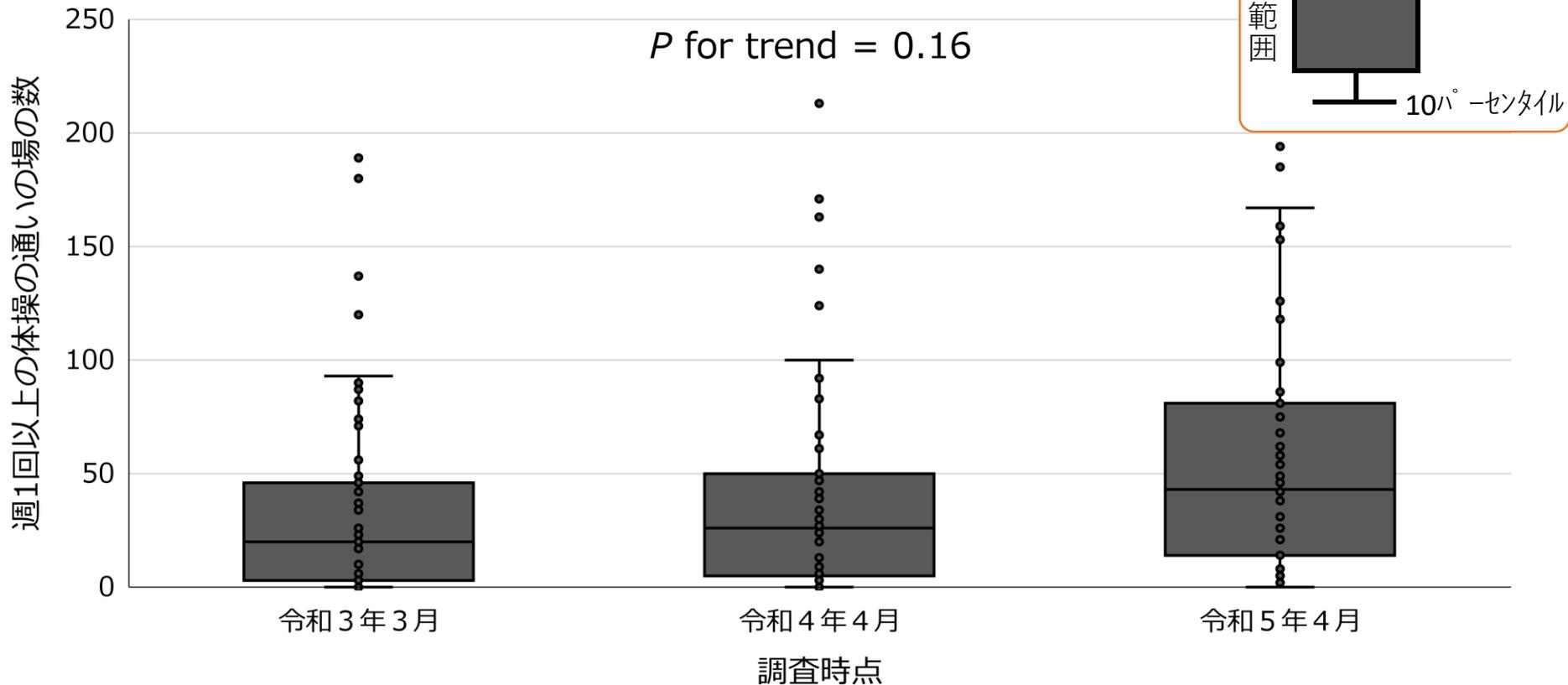
(把握していない: 2自治体)

都内全体
中央値: 31.5
四分位範囲: 5-65

区部	市部	郡部・島しょ部
中央値: 50	中央値: 43	中央値: 1
四分位範囲: 21-99	四分位範囲: 23-58	四分位範囲: 0-1

設問 2 : (参考 : R3、R4 年度の結果との比較) 各自治体の週1回以上の体操の通いの場

通いの場の数 (令和3~5年度)

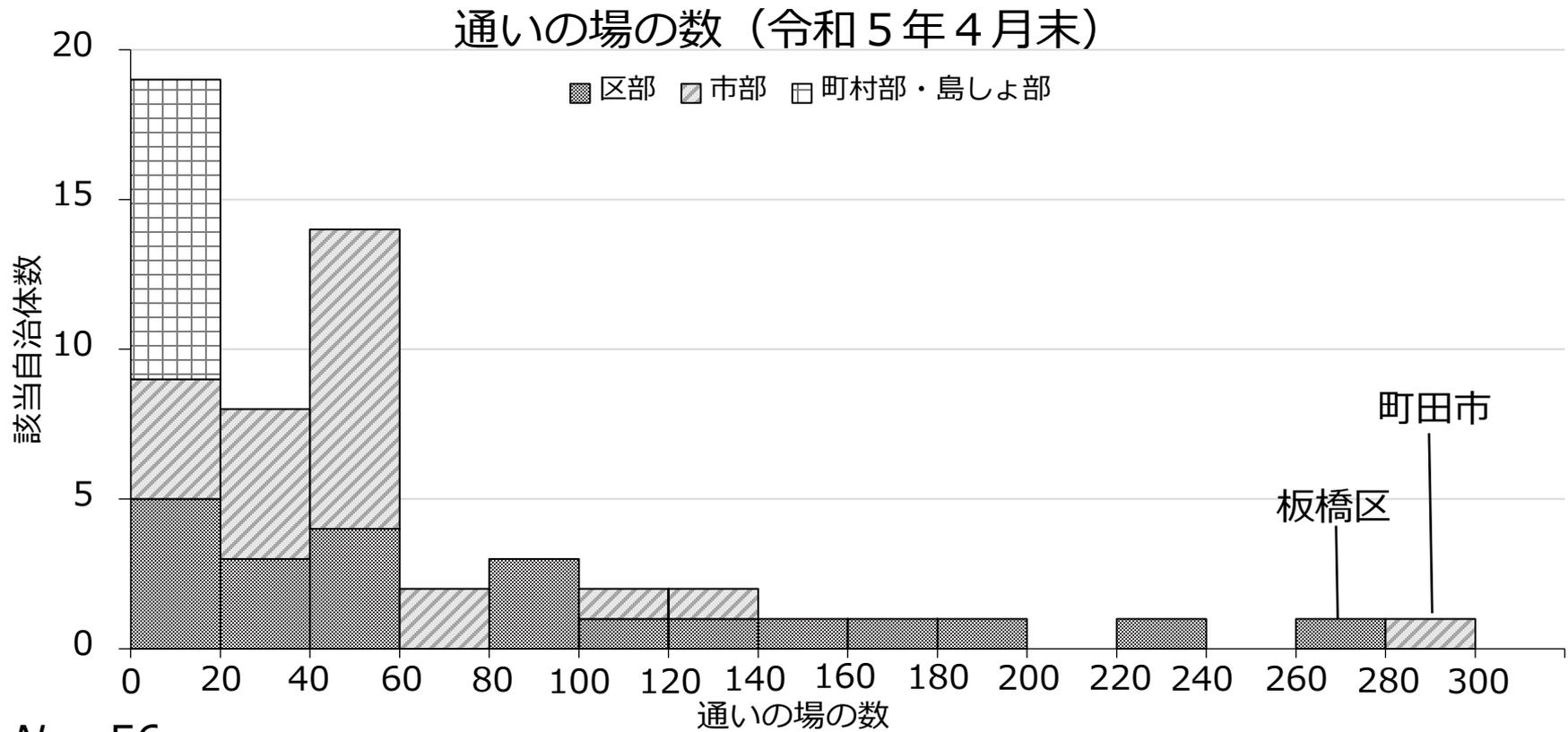


令和3年度調査時と比較して、

令和5年度調査時には通いの場の数が有意に増加していた ($P = 0.007$)。

*: 令和3年度調査時の値で調整した線形混合モデルの結果

設問 3-1 : 月1回以上活動している体操（運動）の通いの場の数



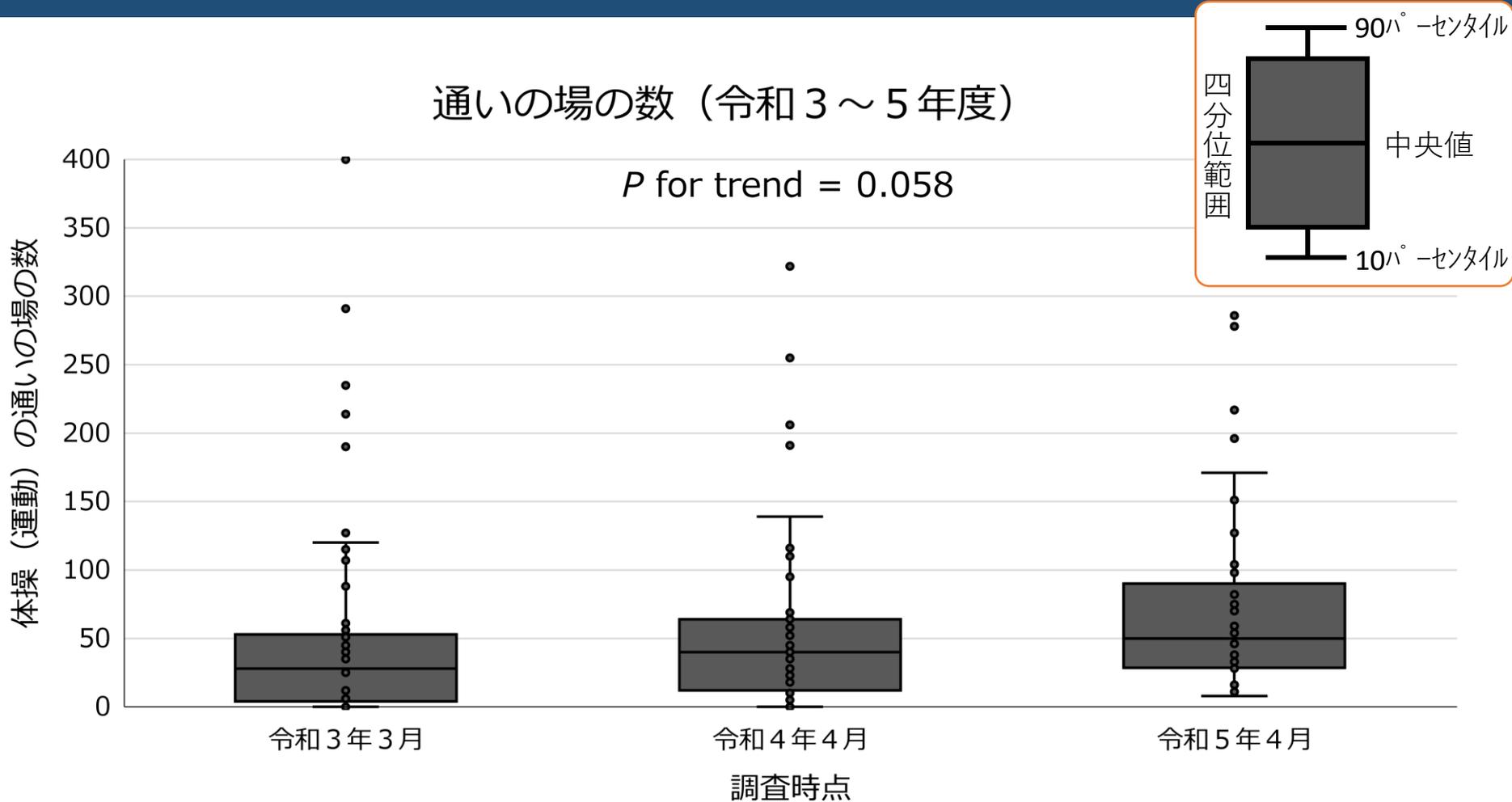
N = 56

(把握していない: 6自治体)

都内全体
中央値: 43
四分位範囲: 13.5-72.5

区部	市部	郡部・島しょ部
中央値: 54	中央値: 51.5	中央値: 3
四分位範囲: 31-131	四分位範囲: 28.5-59	四分位範囲: 1-9.5

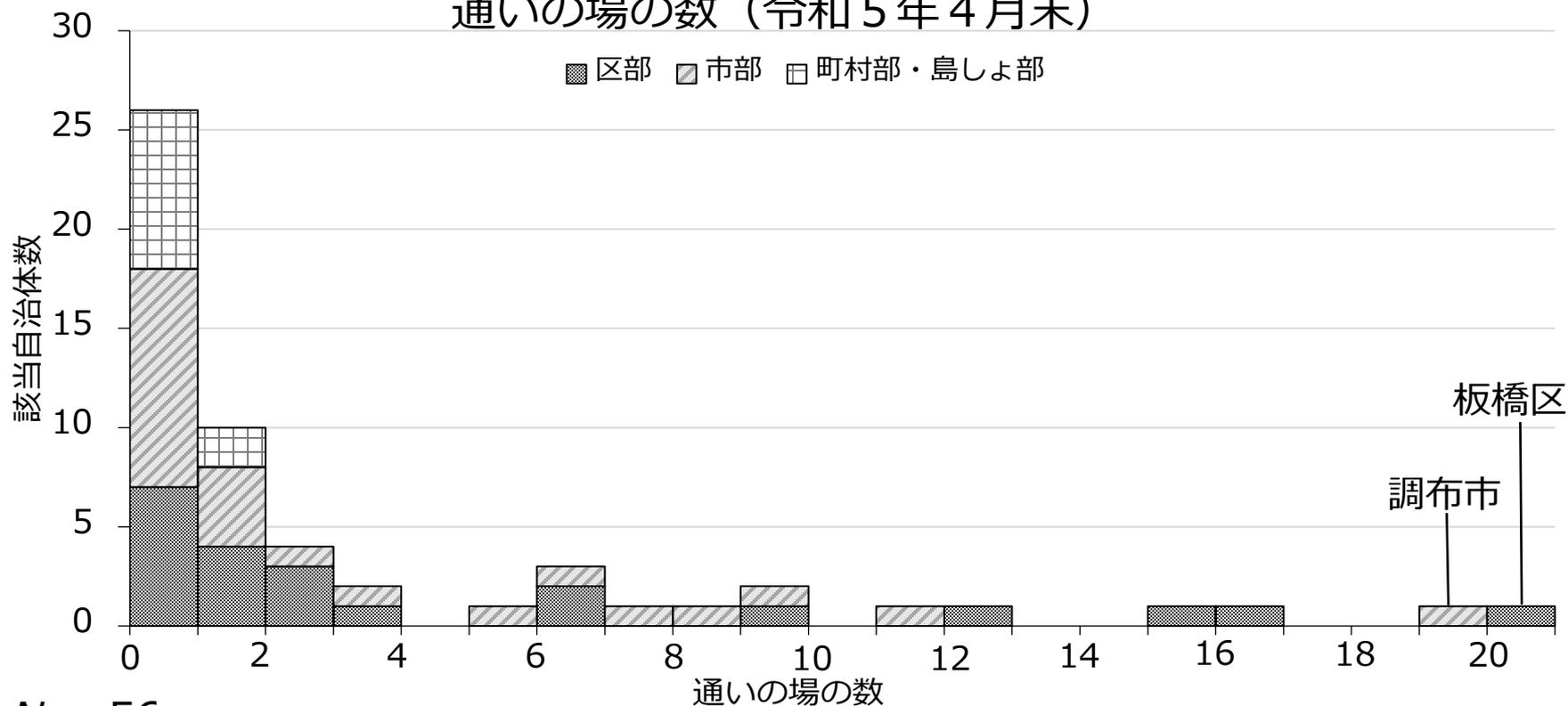
設問3-1：（参考：R3、R4年度の結果との比較） 月1回以上活動している体操（運動）の通いの場の数



設問 3-2 :

月1回以上活動している会食の通いの場の数

通いの場の数 (令和5年4月末)



板橋区
調布市

N = 56

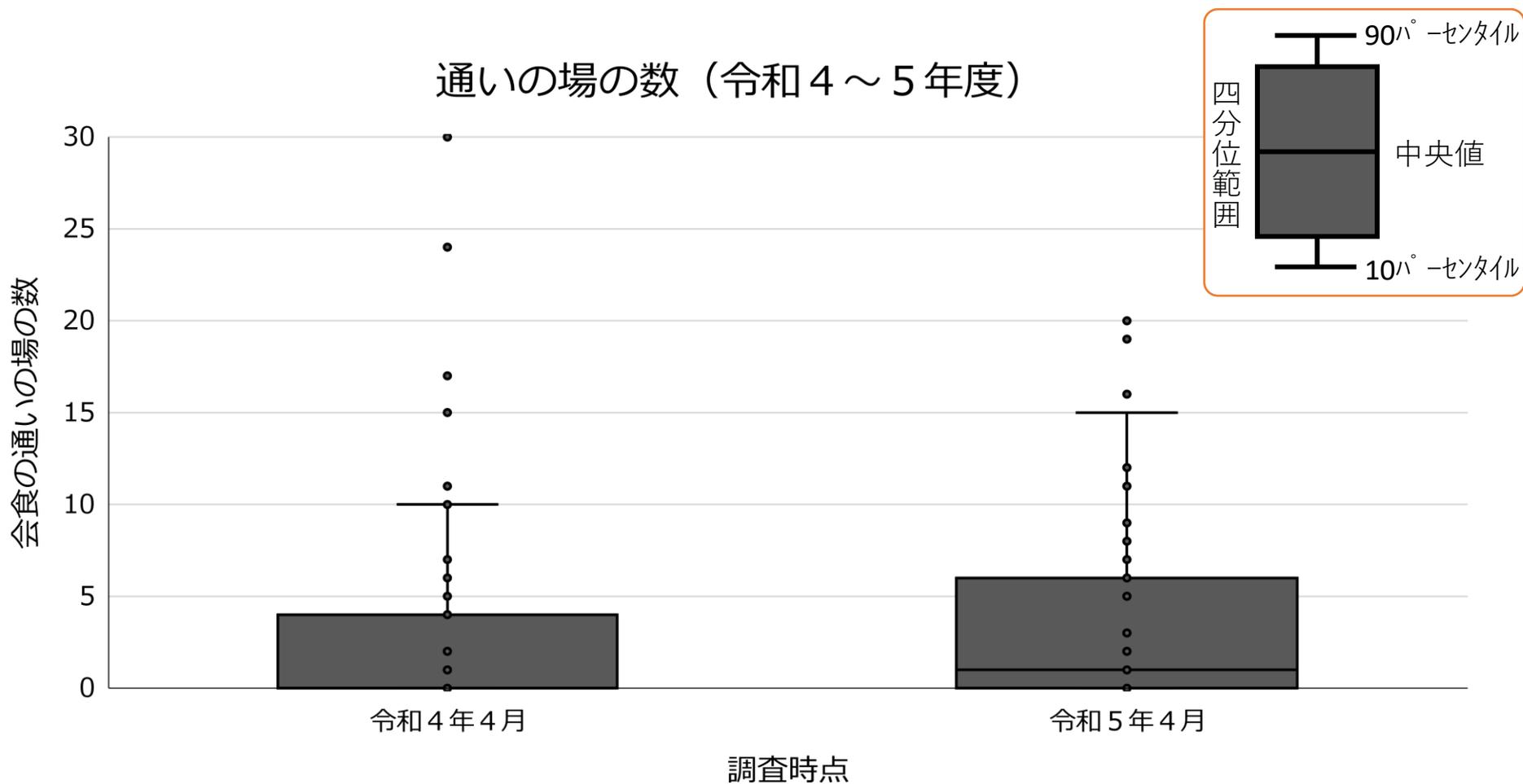
(把握していない: 6自治体)

都内全体
中央値: 1
四分位範囲: 0-4

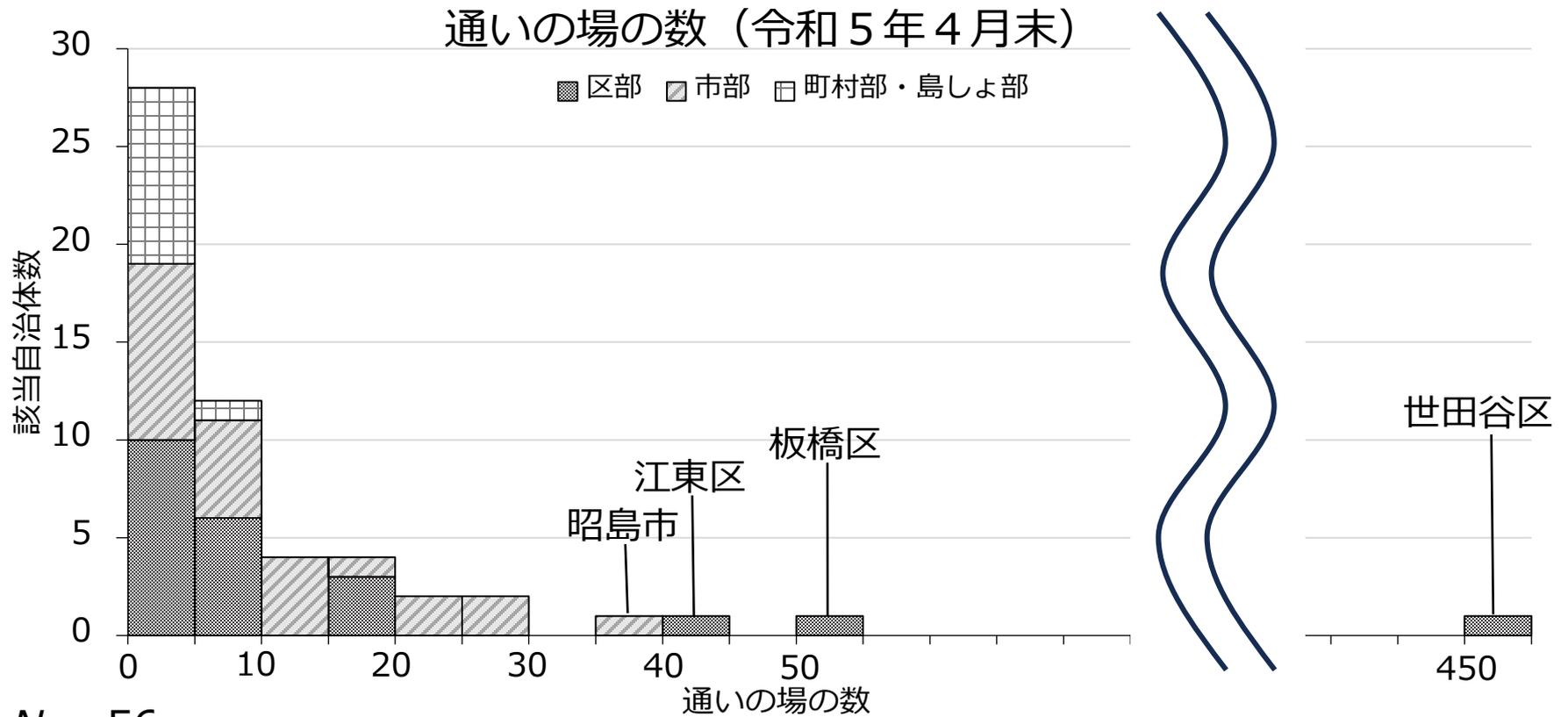
区部	市部	郡部・島しょ部
中央値: 1.5 四分位範囲: 0-6	中央値: 1 四分位範囲: 0-5.5	中央値: 0 四分位範囲: 0-0

設問 3 - 2 : (参考 : R4 年度の結果との比較)

月 1 回以上活動している会食の通いの場の数



設問 3-3 : 月 1 回以上活動している茶話会の通いの場の数



$N = 56$

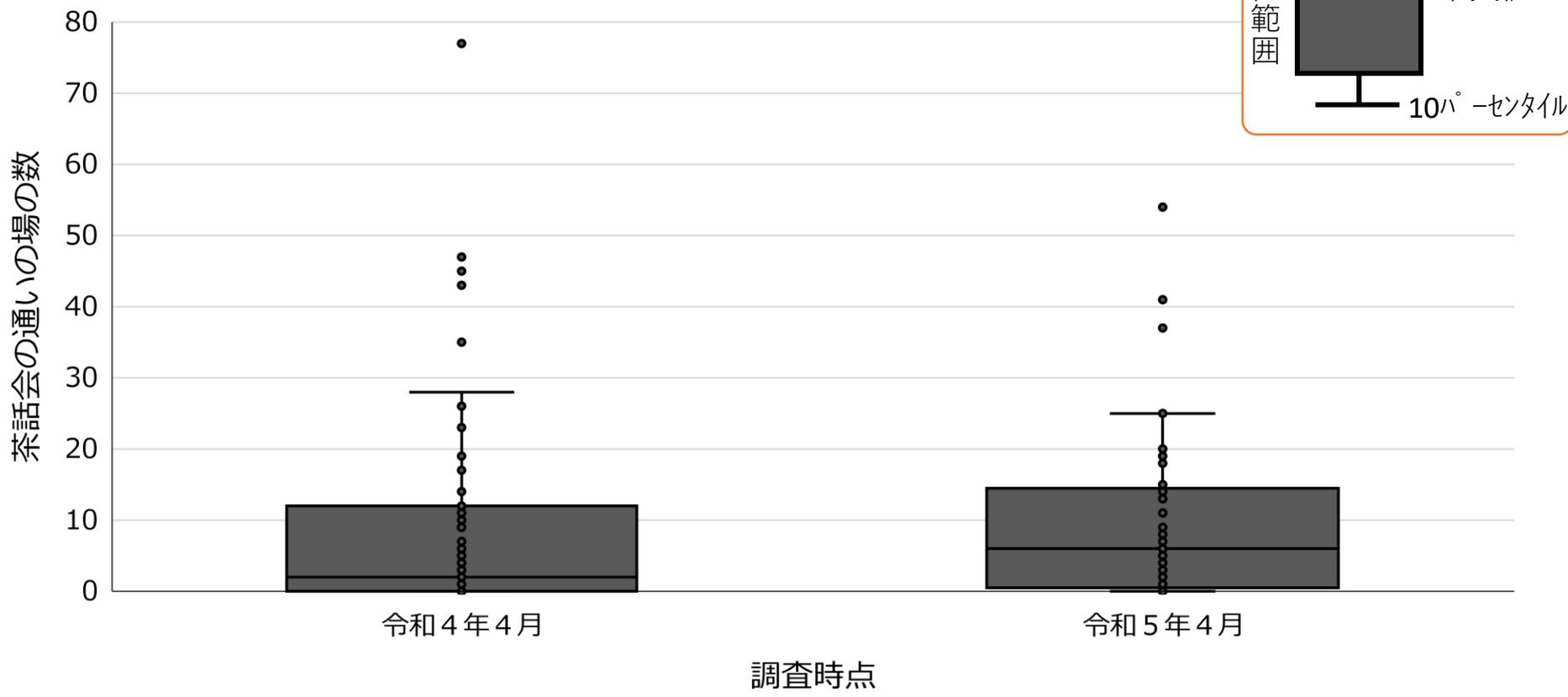
(把握していない: 6 自治体)

都内全体
中央値: 4.5
四分位範囲: 0-12

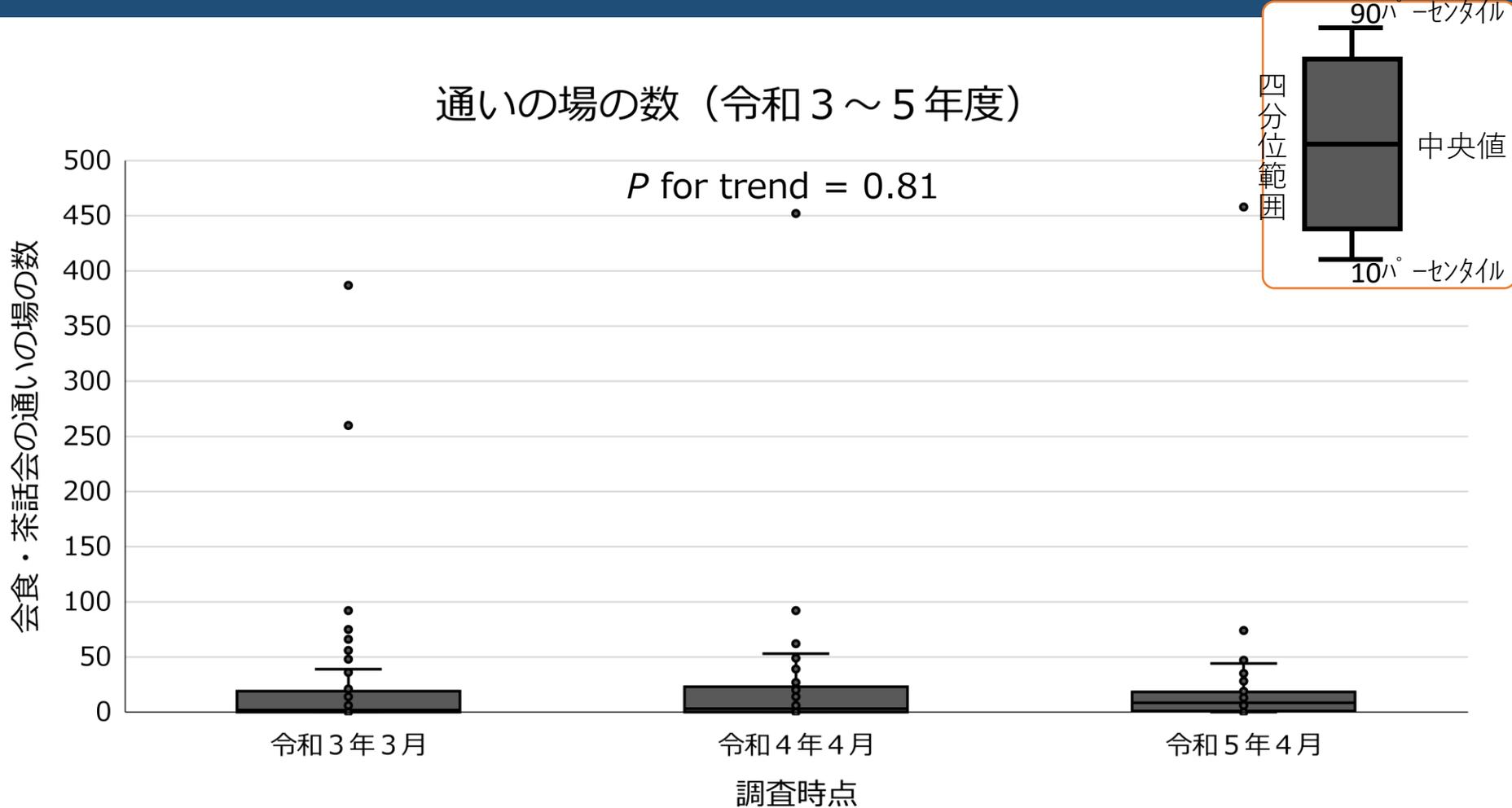
区部	市部	郡部・島しょ部
中央値: 5	中央値: 7.5	中央値: 0
四分位範囲: 1-15	四分位範囲: 0-16	四分位範囲: 0-1

設問3-3：（参考：R4年度の結果との比較） 月1回以上活動している茶話会の通いの場の数

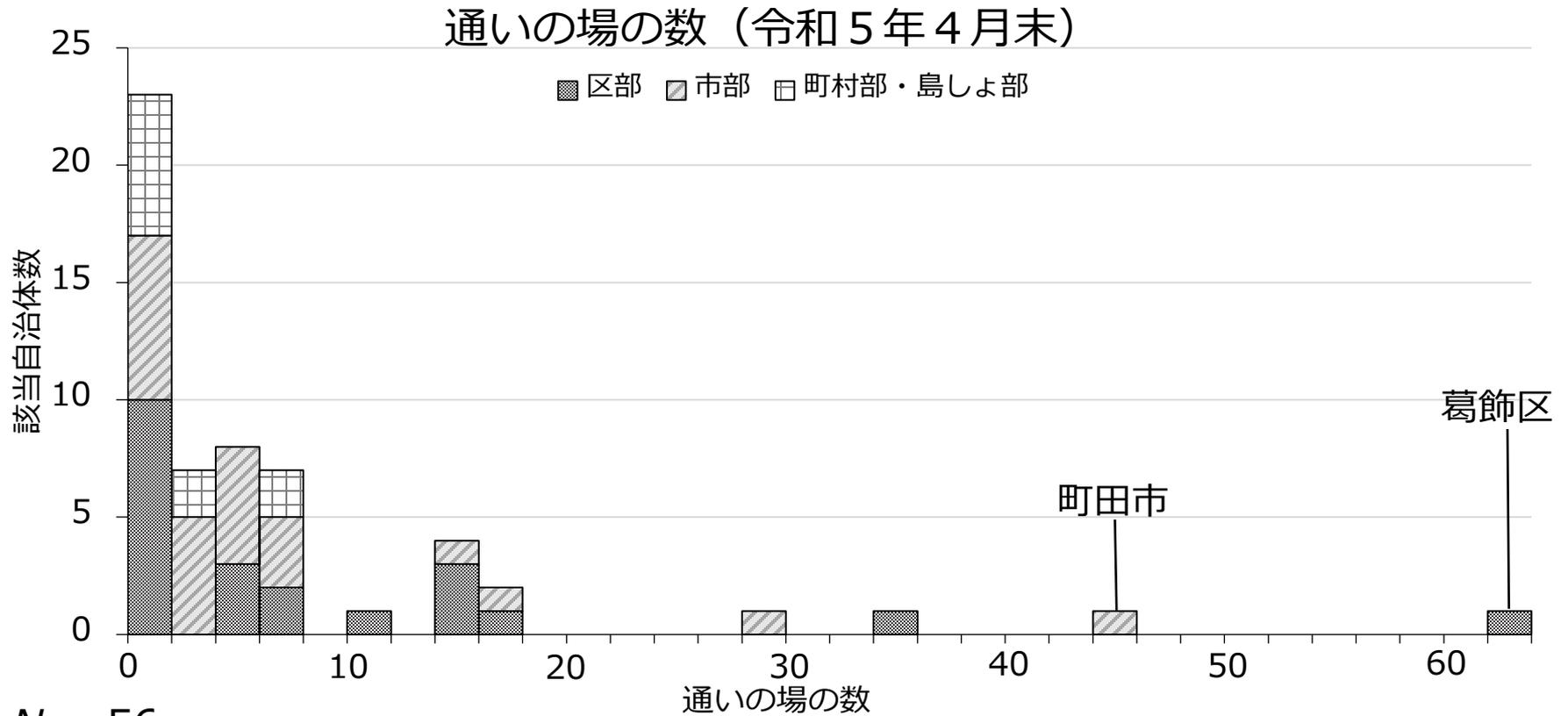
通いの場の数（令和4～5年度）



設問 3 - 2,3 : (参考 : R3、R4 年度の結果との比較) 月 1 回以上活動している会食・茶話会の通いの場の数



設問 3-4 : 月 1 回以上活動している認知症予防の通いの場の数



N = 56

(把握していない: 6 自治体)

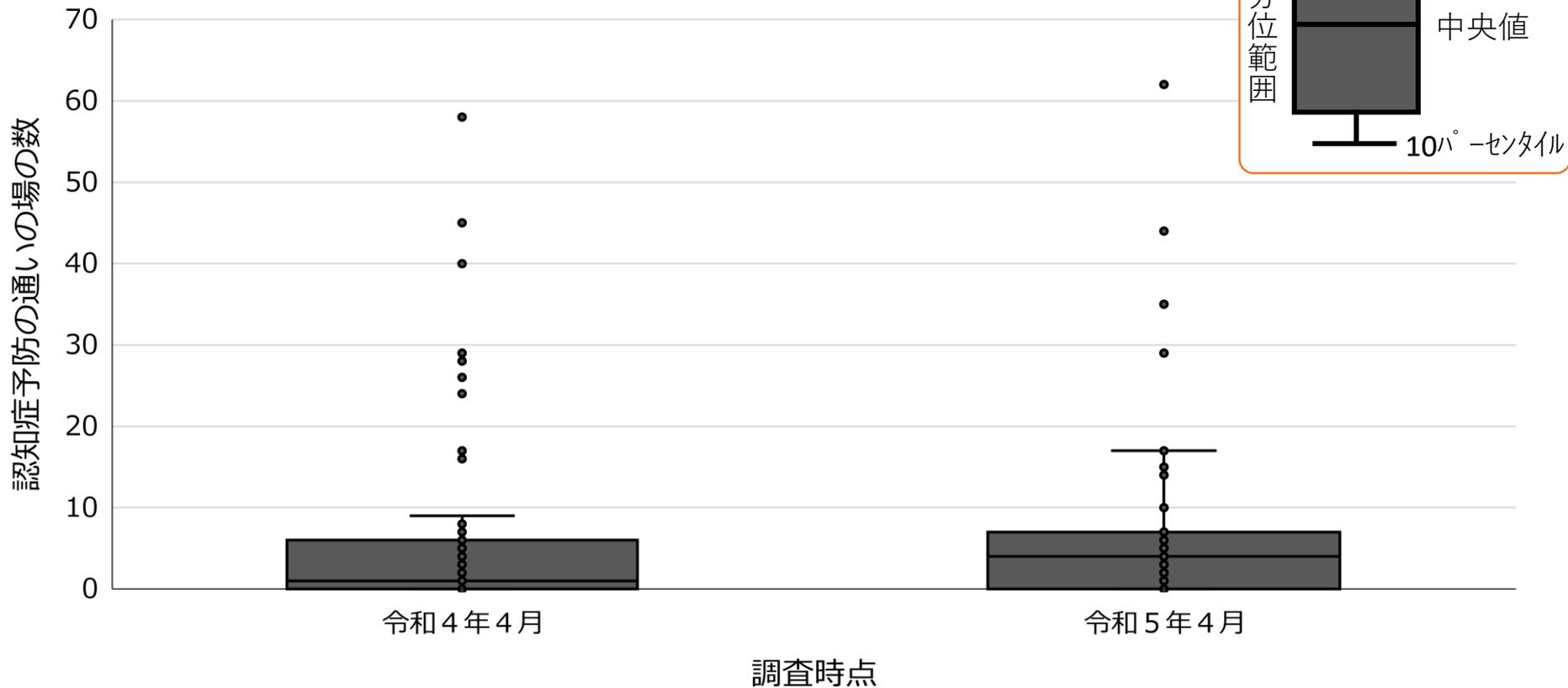
都内全体
中央値: 3
四分位範囲: 0-7

区部	市部	郡部・島しょ部
中央値: 4.5 四分位範囲: 0-14	中央値: 3.5 四分位範囲: 0.5-7	中央値: 0 四分位範囲: 0-4.5

設問 3 - 4 : (参考 : R4 年度の結果との比較)

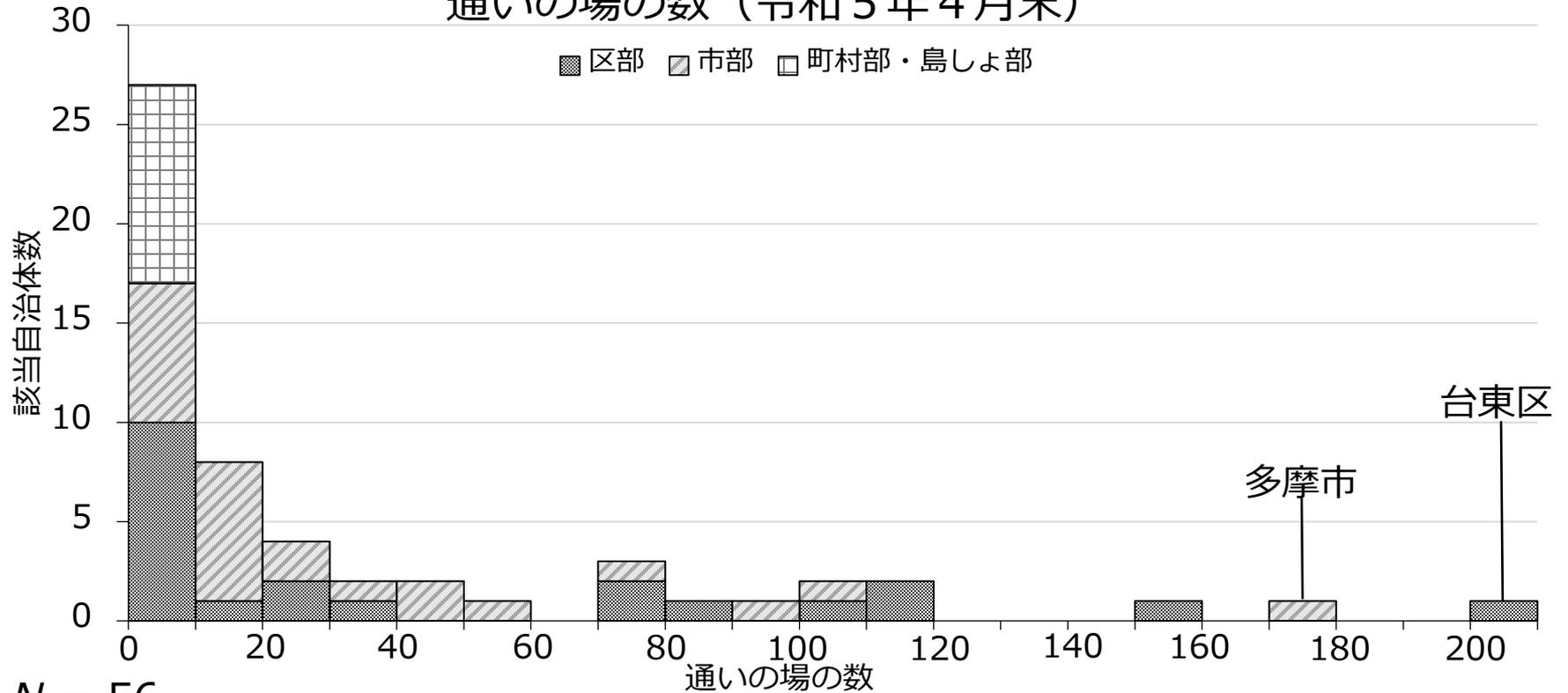
月 1 回以上活動している認知症予防の通いの場の数

通いの場の数 (令和 4 ~ 5 年度)



設問 3-5 : 月 1 回以上活動している趣味活動の通いの場の数

通いの場の数 (令和 5 年 4 月末)



N = 56

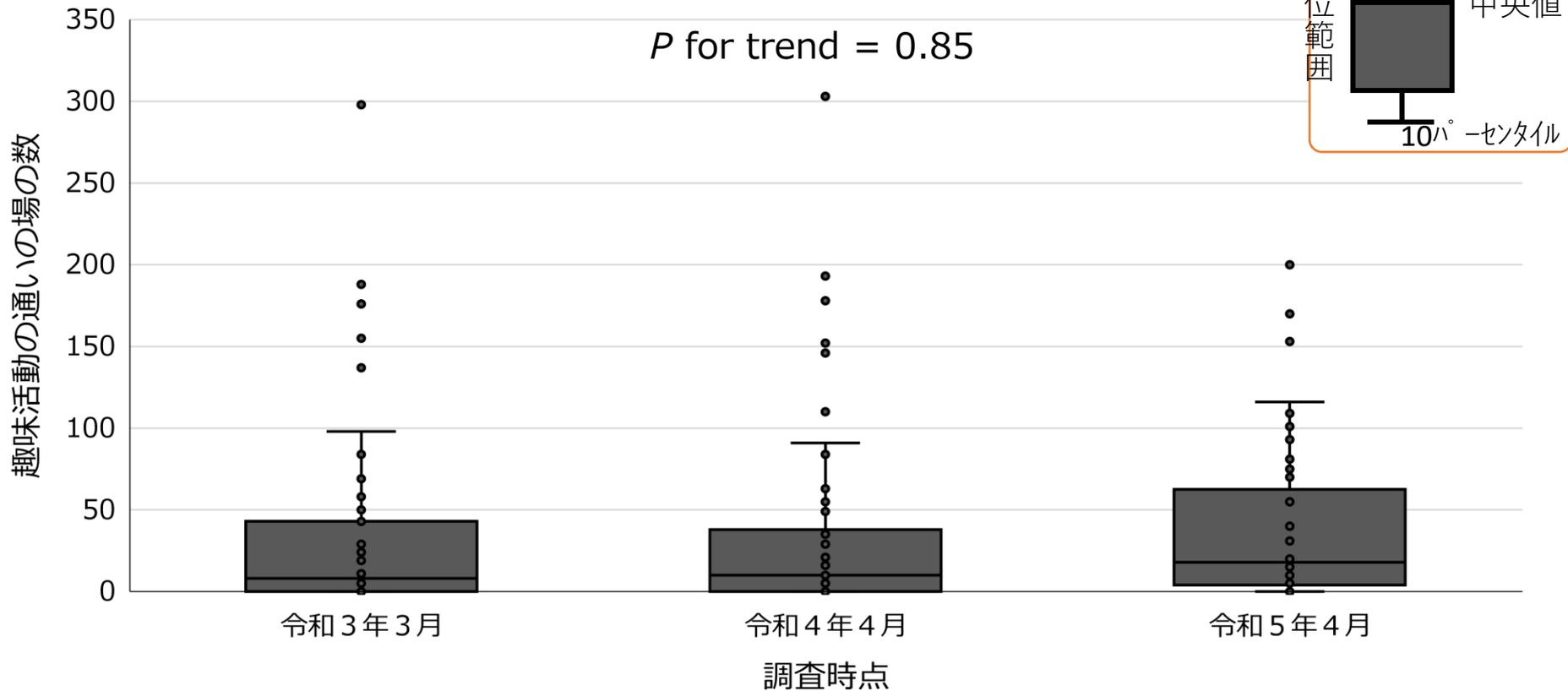
(把握していない: 6 自治体)

都内全体
中央値: 3
四分位範囲: 0-7

区部	市部	郡部・島しょ部
中央値: 4.5	中央値: 3.5	中央値: 0
四分位範囲: 0-14	四分位範囲: 0.5-7	四分位範囲: 0-4.5

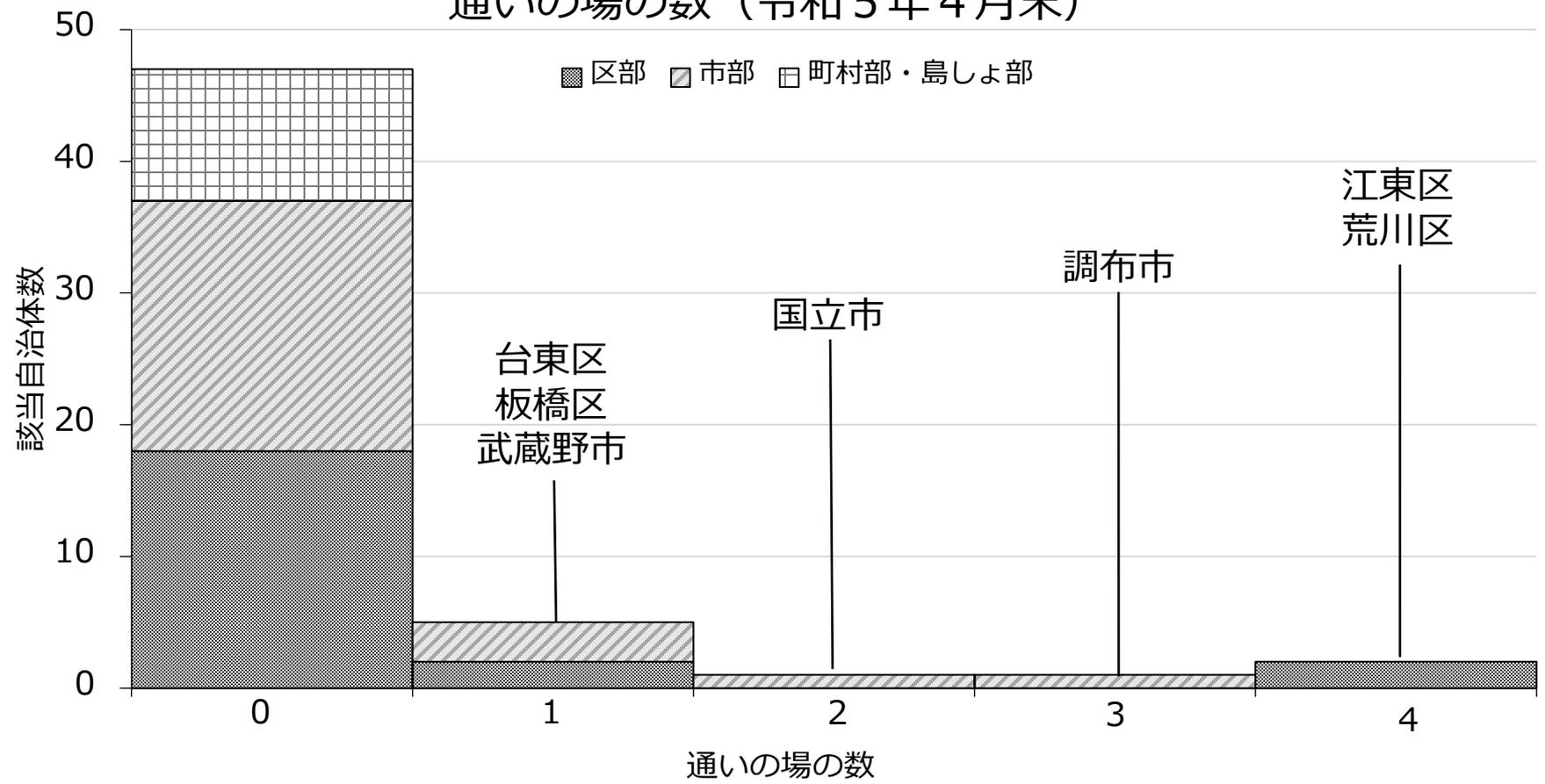
設問 3 - 5 : (参考 : R3、R4 年度の結果との比較) 月 1 回以上活動している趣味活動の通いの場の数

通いの場の数 (令和 4 ~ 5 年度)



設問 3-6 : 月 1 回以上活動している農作業の通いの場の数

通いの場の数 (令和 5 年 4 月末)

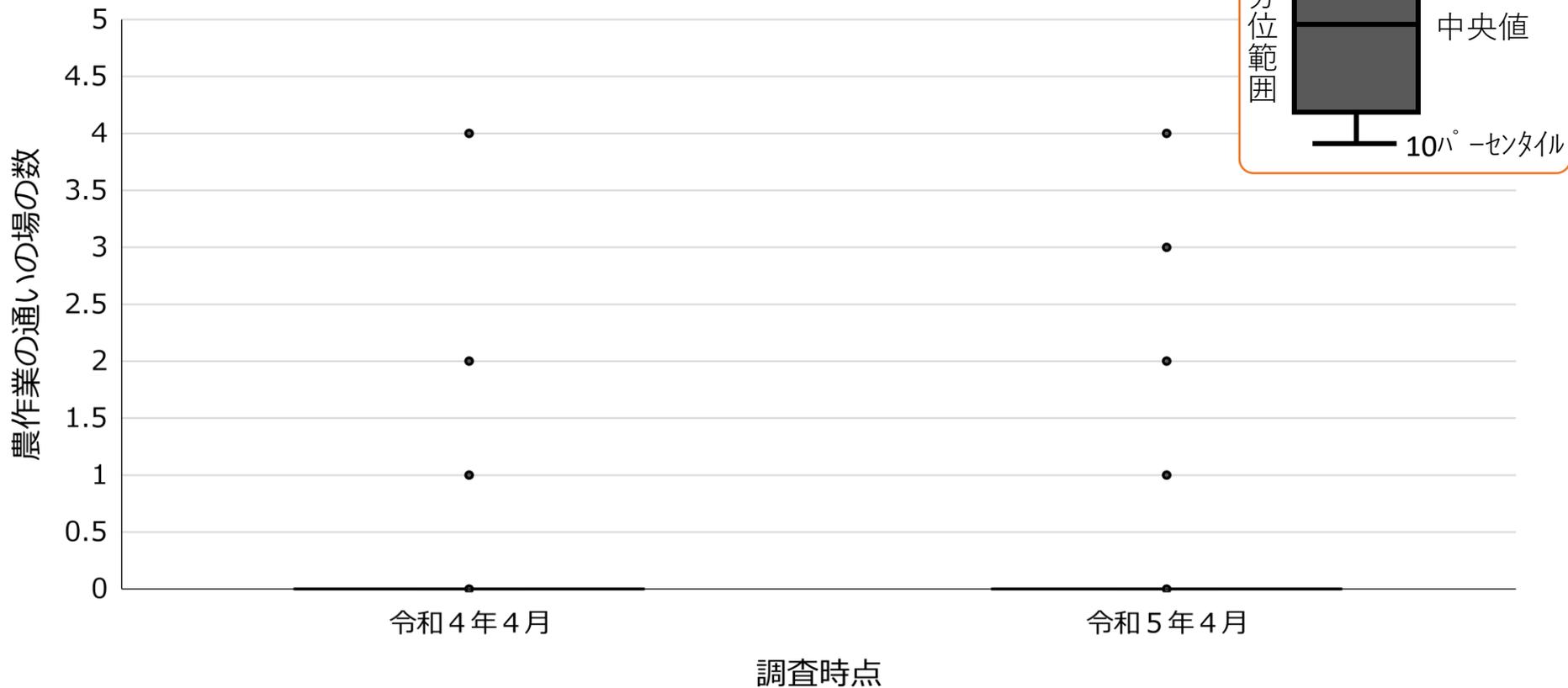


N = 56
(把握していない: 6自治体)

設問3-6：（参考：R4年度の結果との比較）

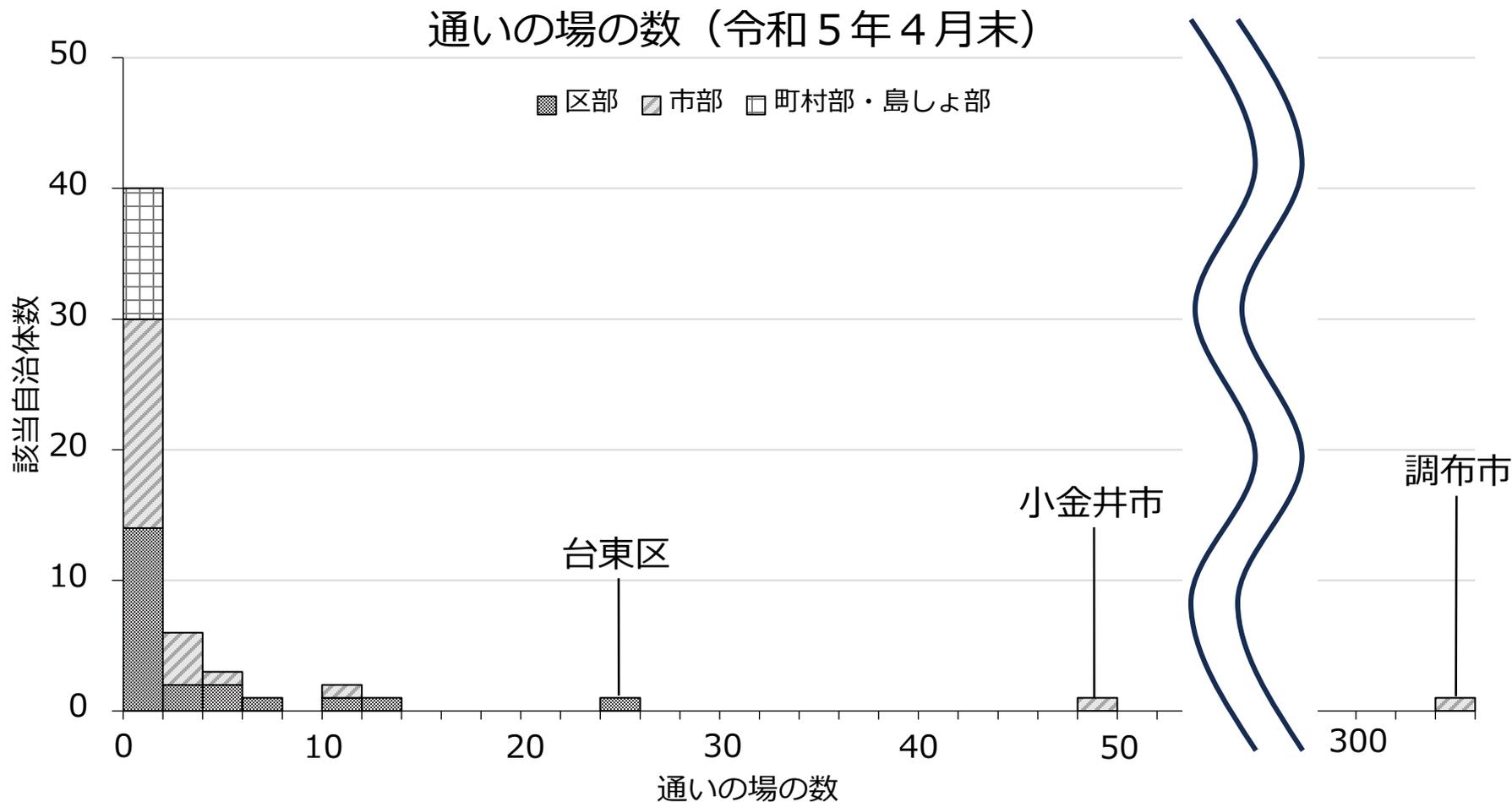
月1回以上活動している農作業の通いの場の数

通いの場の数（令和4～5年度）



設問 3-7 :

月1回以上活動している生涯学習の通いの場の数



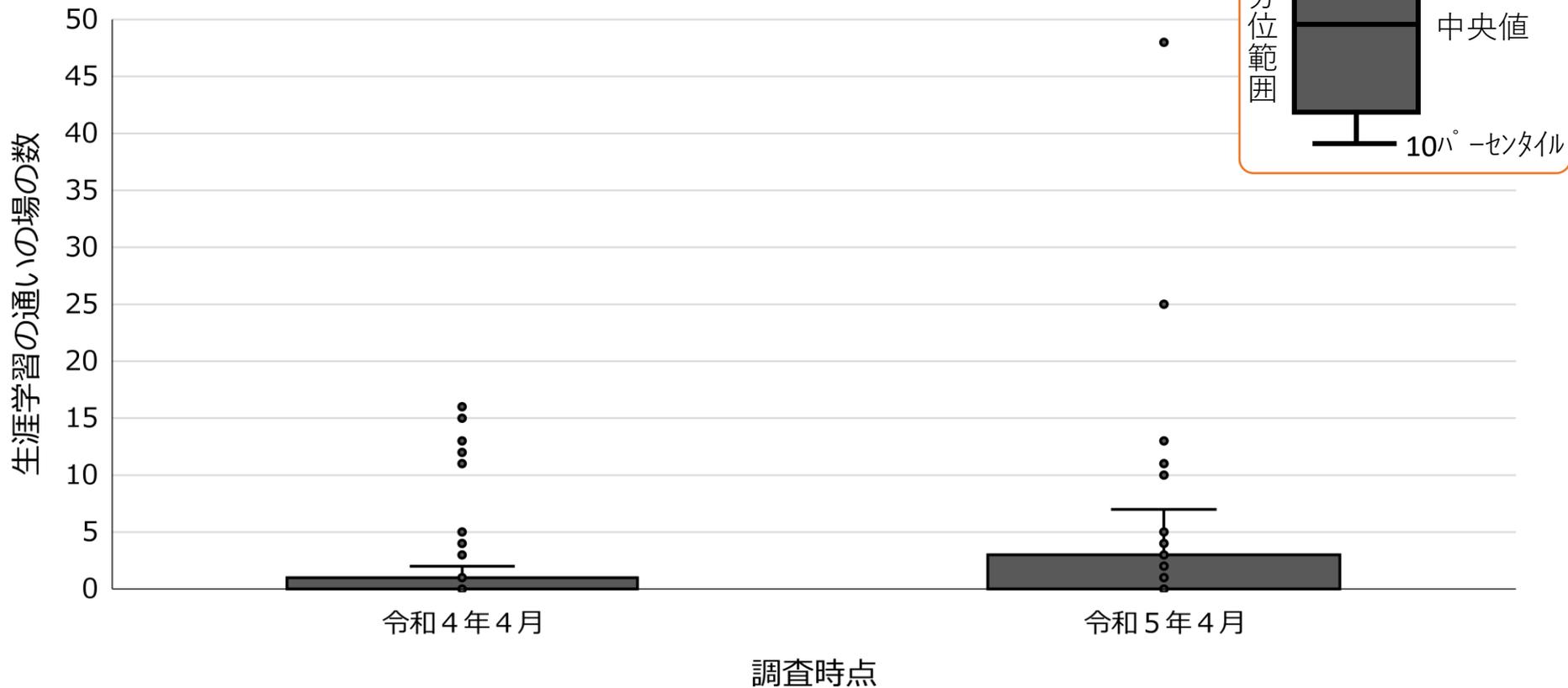
$N = 56$

(把握していない: 6自治体)

設問 3 - 7 : (参考 : R4 年度の結果との比較)

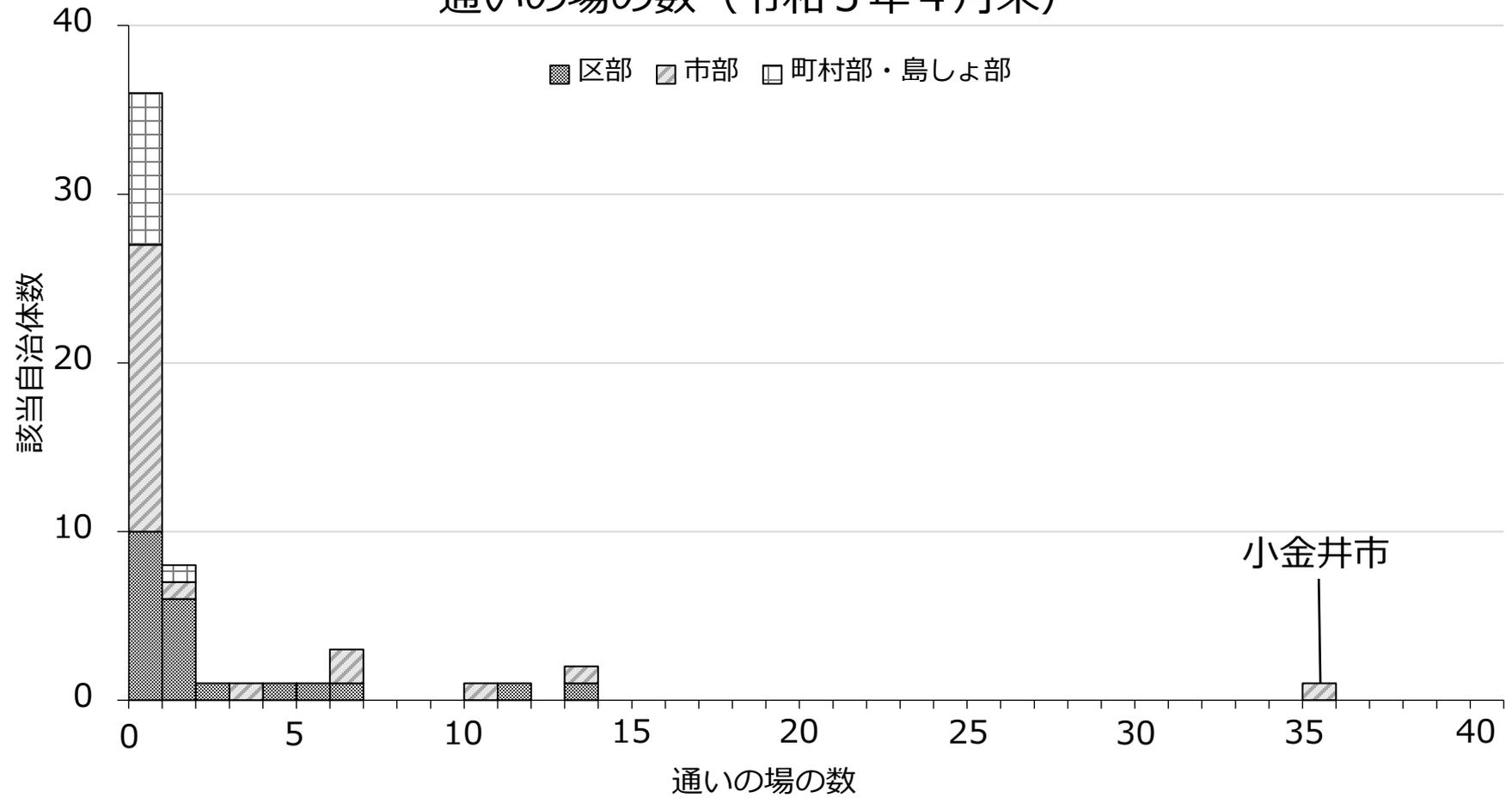
月 1 回以上活動している生涯学習の通いの場の数

通いの場の数 (令和 4 ~ 5 年度)



設問 3-8 : 月 1 回以上活動しているボランティア活動の通いの場の数

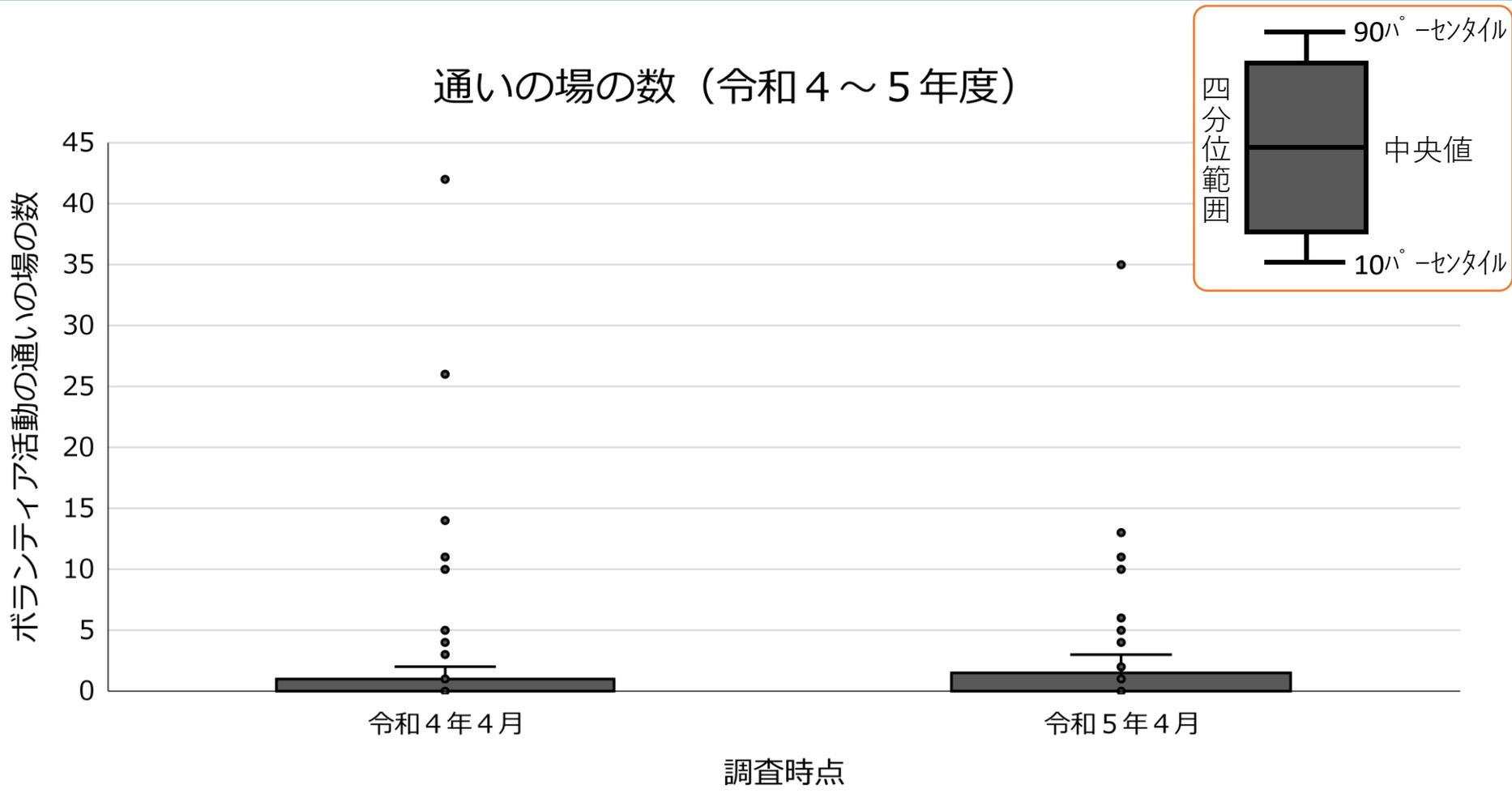
通いの場の数 (令和 5 年 4 月末)



小金井市

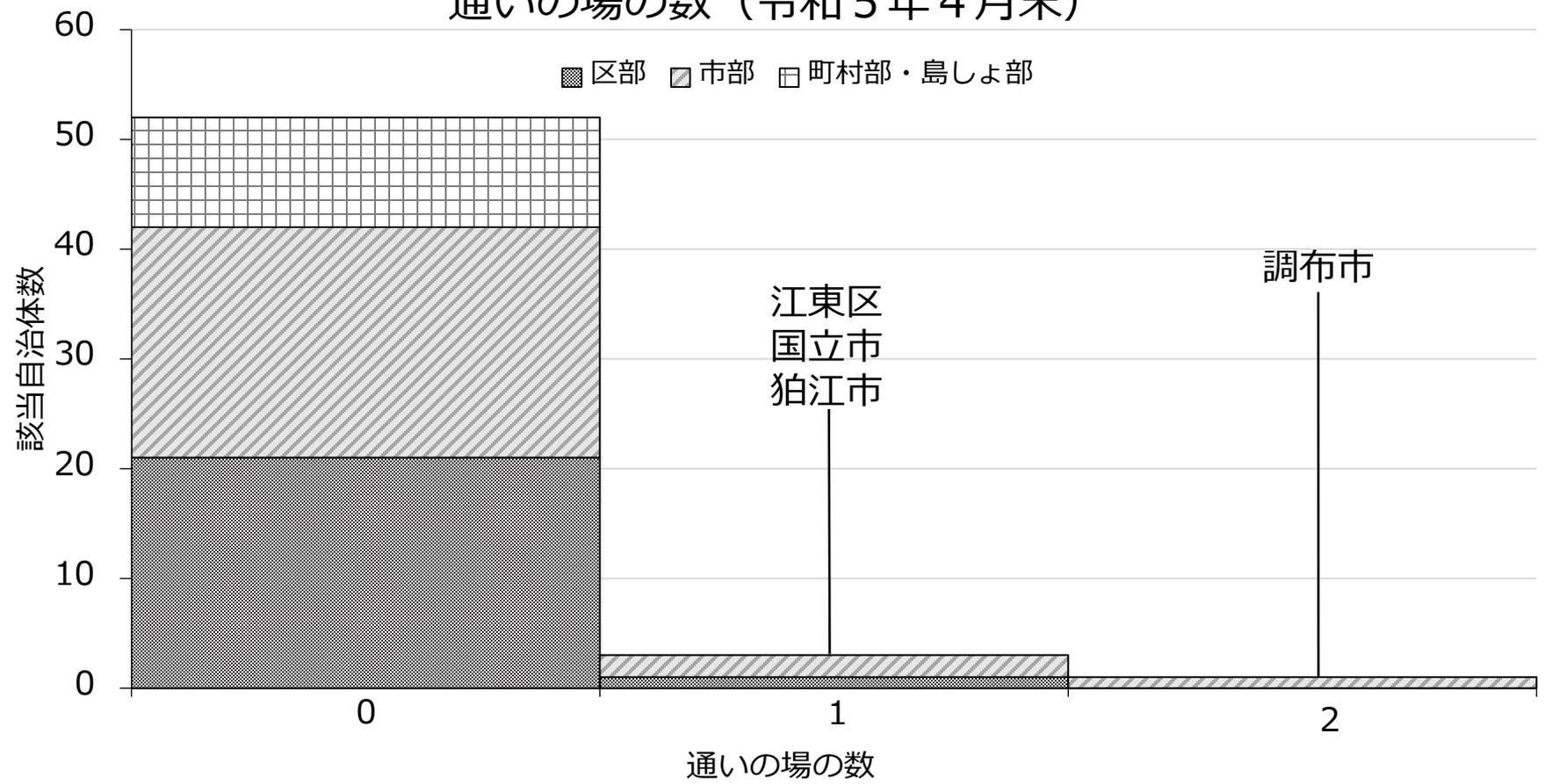
N = 56
(把握していない: 6 自治体)

設問3-8：（参考：R4年度の結果との比較） 月1回以上活動しているボランティア活動の通いの場の数



設問 3-9 : 月 1 回以上活動している就労的活動の通いの場の数

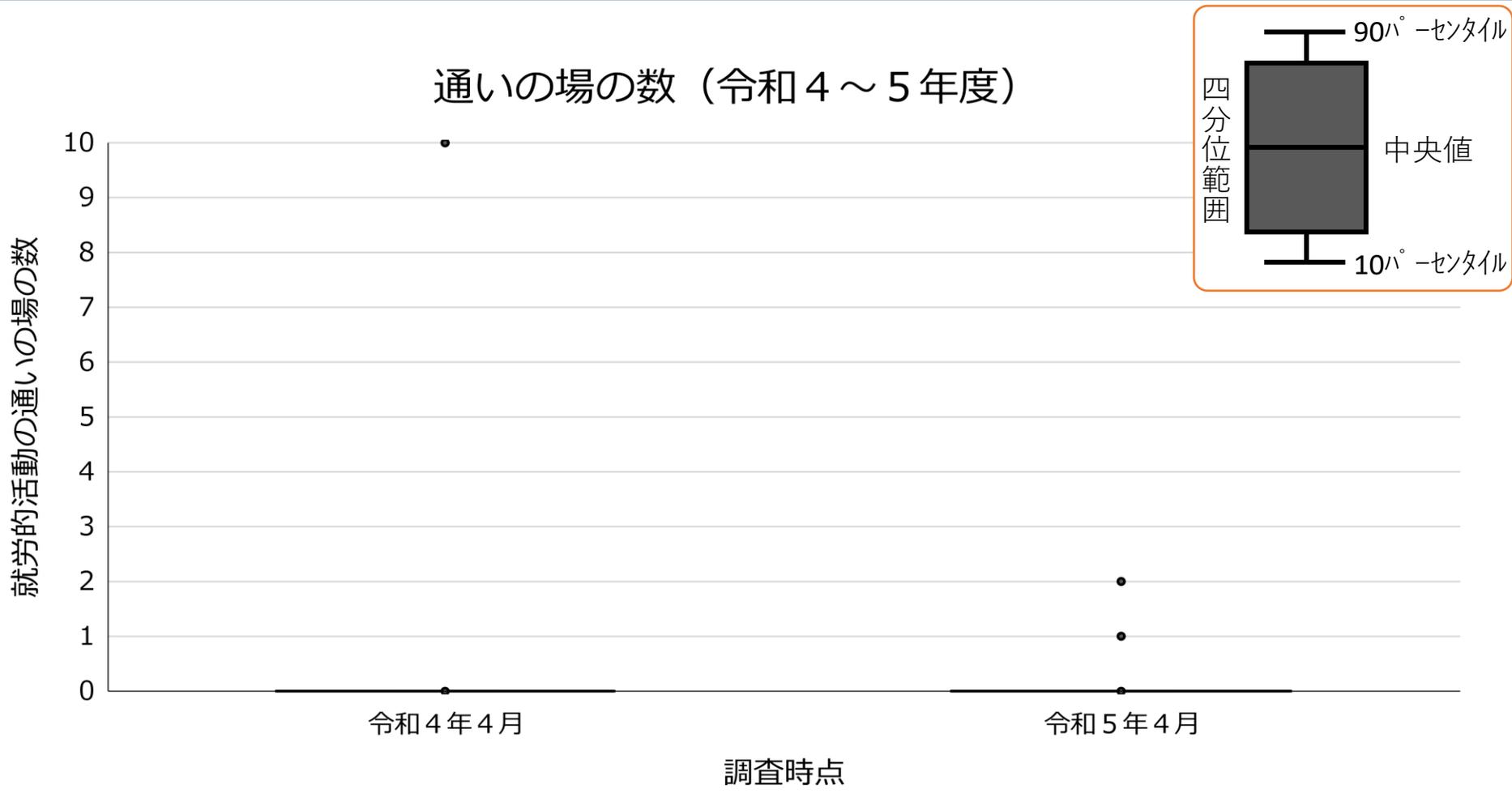
通いの場の数 (令和 5 年 4 月末)



$N = 56$
(把握していない: 6 自治体)

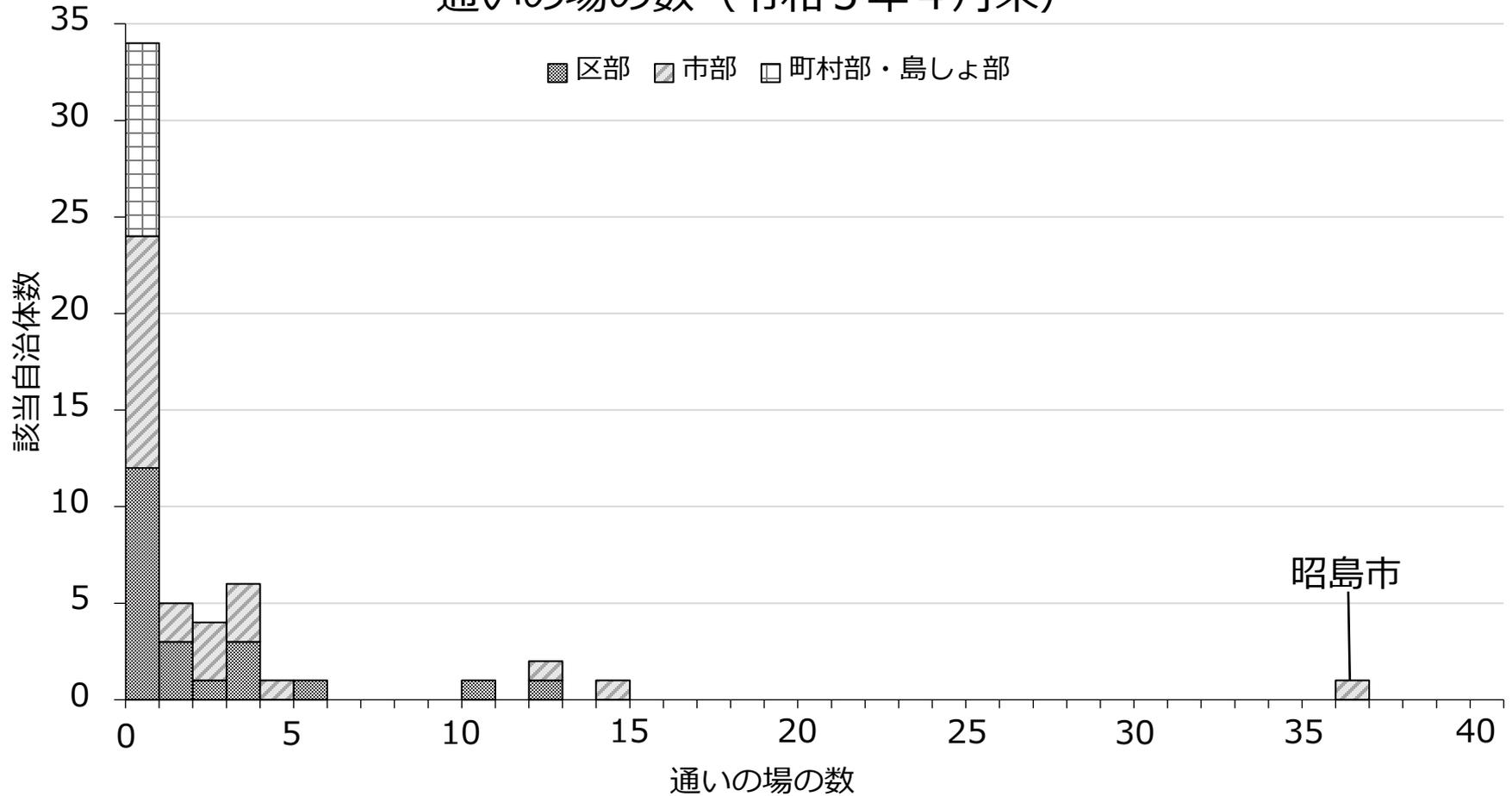
設問 3 - 9 : (参考 : R4 年度の結果との比較)

月 1 回以上活動している就労的活動の通いの場の数



設問 3-10 : 月 1 回以上活動している多世代交流の通いの場の数

通いの場の数 (令和 5 年 4 月末)

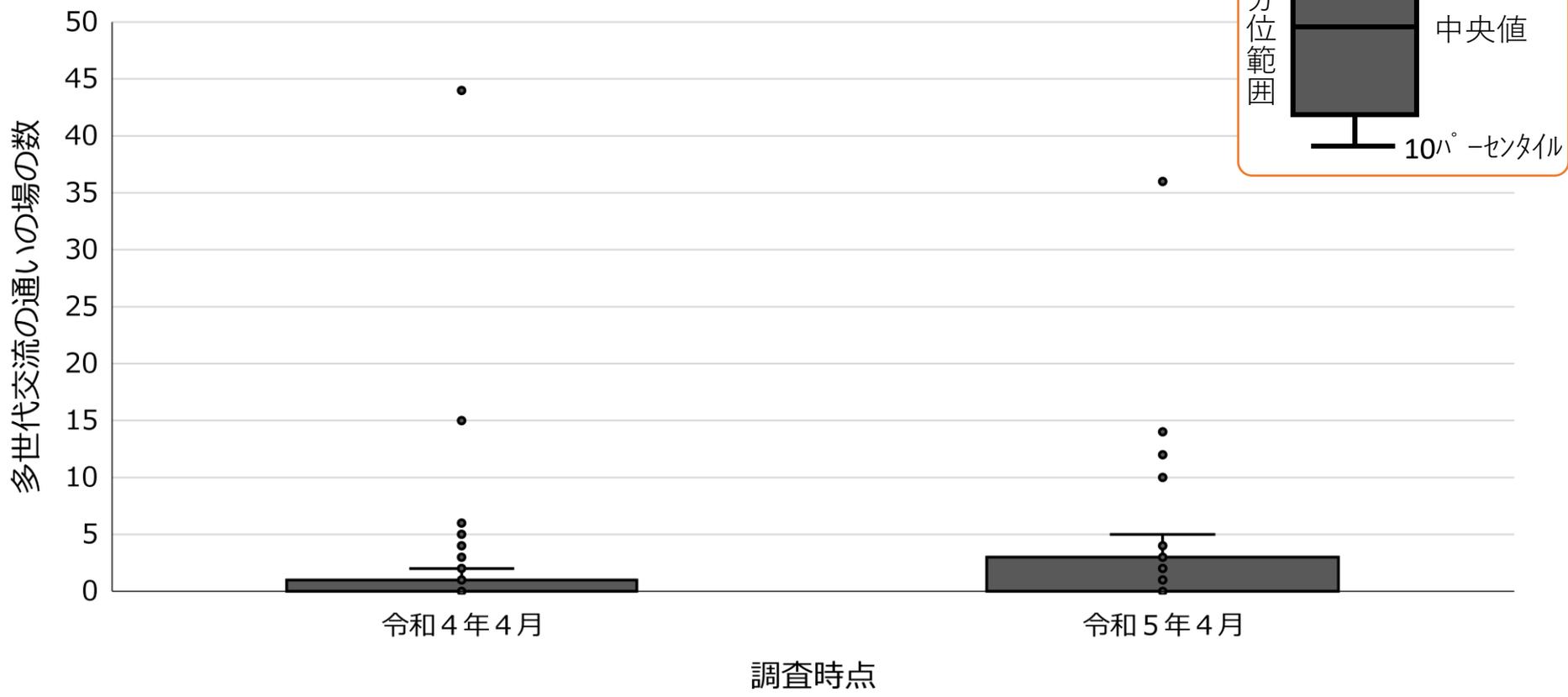


$N = 56$
(把握していない: 6 自治体)

設問 3 - 10 : (参考 : R4 年度の結果との比較)

月 1 回以上活動している多世代交流の通いの場の数

通いの場の数 (令和 4 ~ 5 年度)



設問 3-11 :

月 1 回以上活動している**その他の**通いの場の数

- **交流（孤立防止）**

高齢者同士、介護者、地域の絆づくり、障がい者との共生、未就園児の親子の遊び場

- **講座、学習、知的活動**

健康や薬に関する相談、介護予防やフレイル予防のための学び、認知症カフェ、クイズ、終活、英会話、スマホ操作

- **食、音楽**

歌、ボイストレーニング、漫才、料理教室、レシピ考案、楽器演奏

- **地域活動**

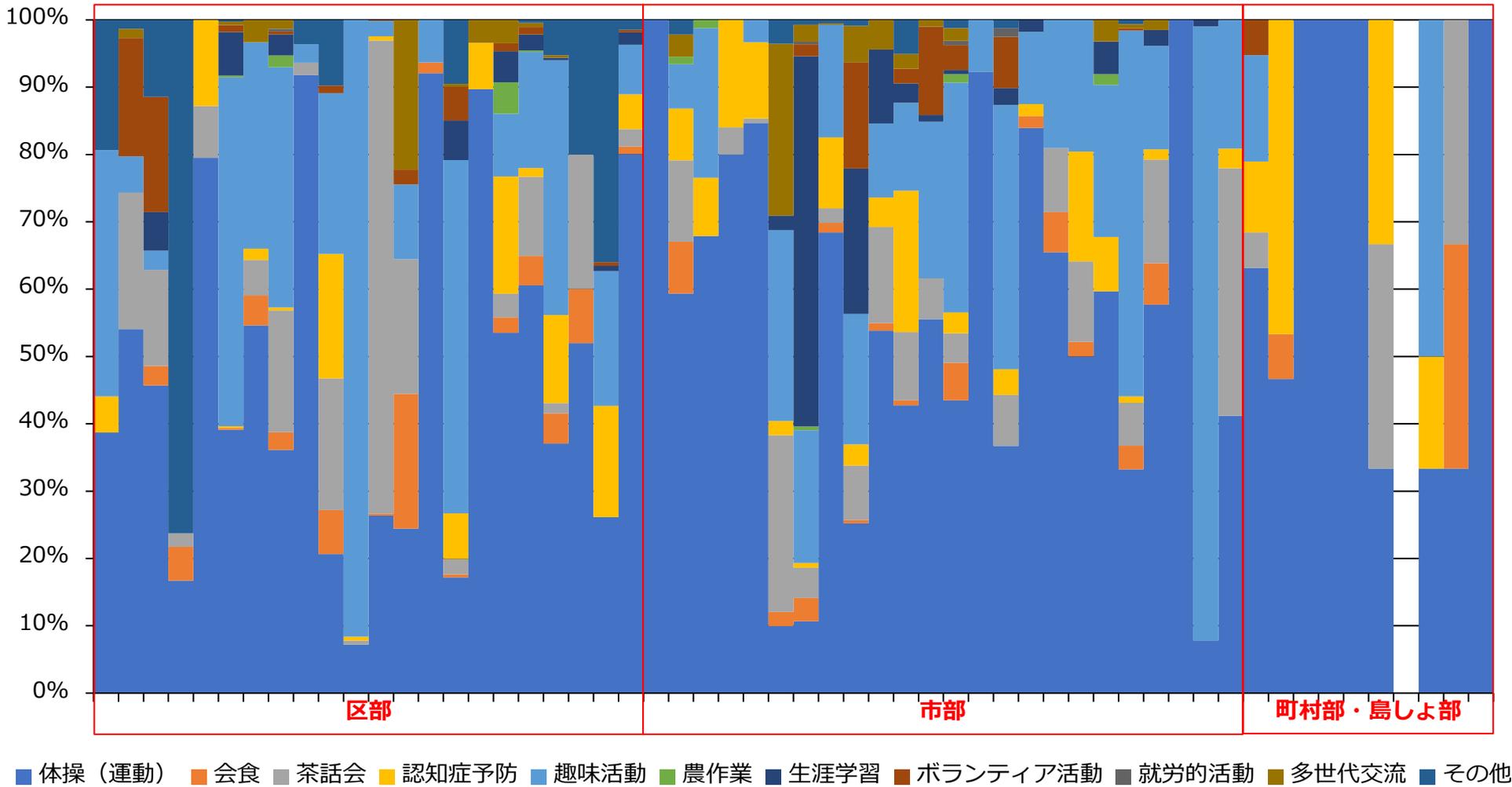
清掃、緑化推進活動、花壇づくり、高齢者クラブ、老人クラブ、町会

など

$N = 22$

設問3：（再掲）自治体ごとの月1回以上活動している通いの場の種類ごとの割合

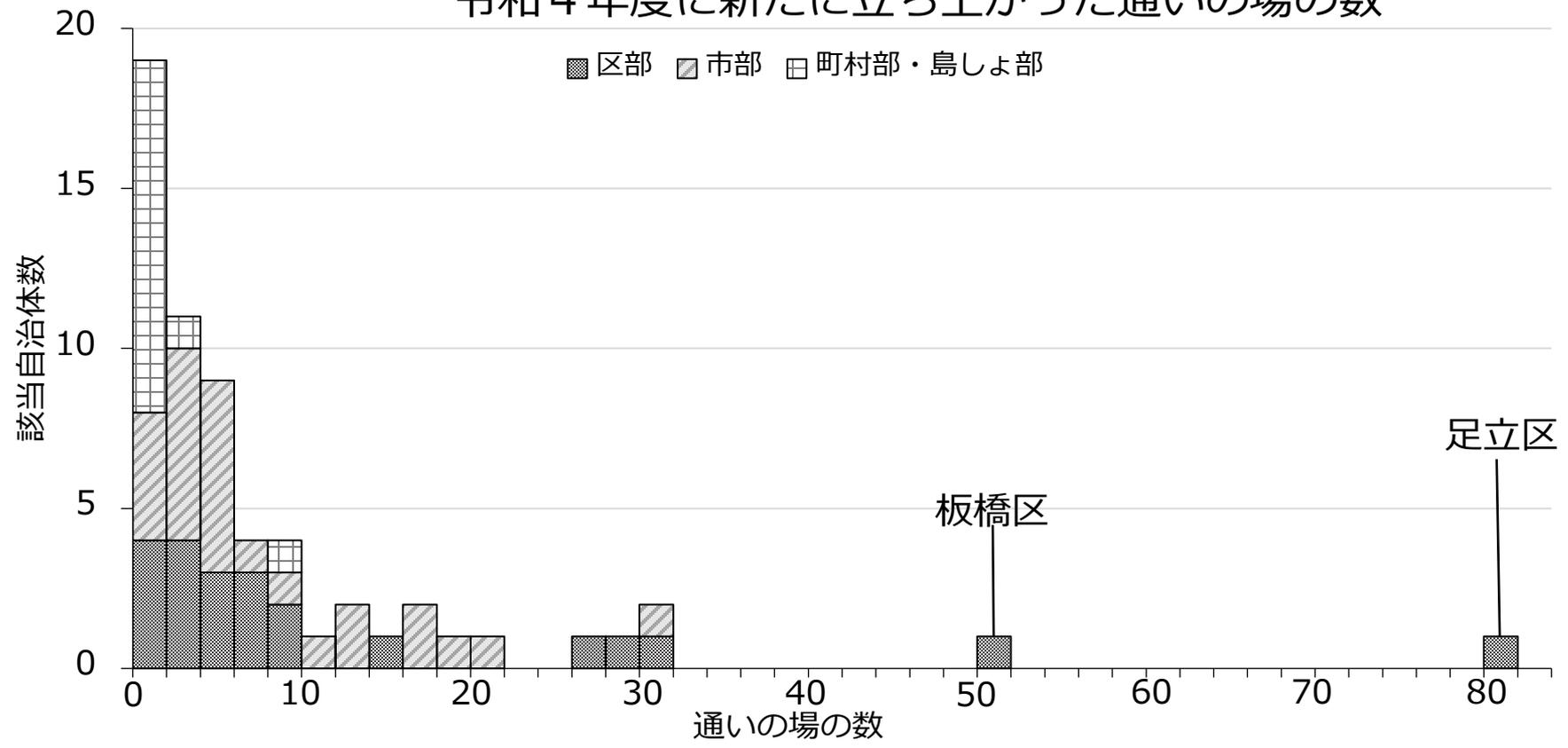
自治体別の月1回以上活動している通いの場の種類ごとの割合



N = 56 (把握していない: 6自治体)

設問 4 : 昨年度、新規に立ち上げた通いの場の数

令和4年度に新たに立ち上がった通いの場の数



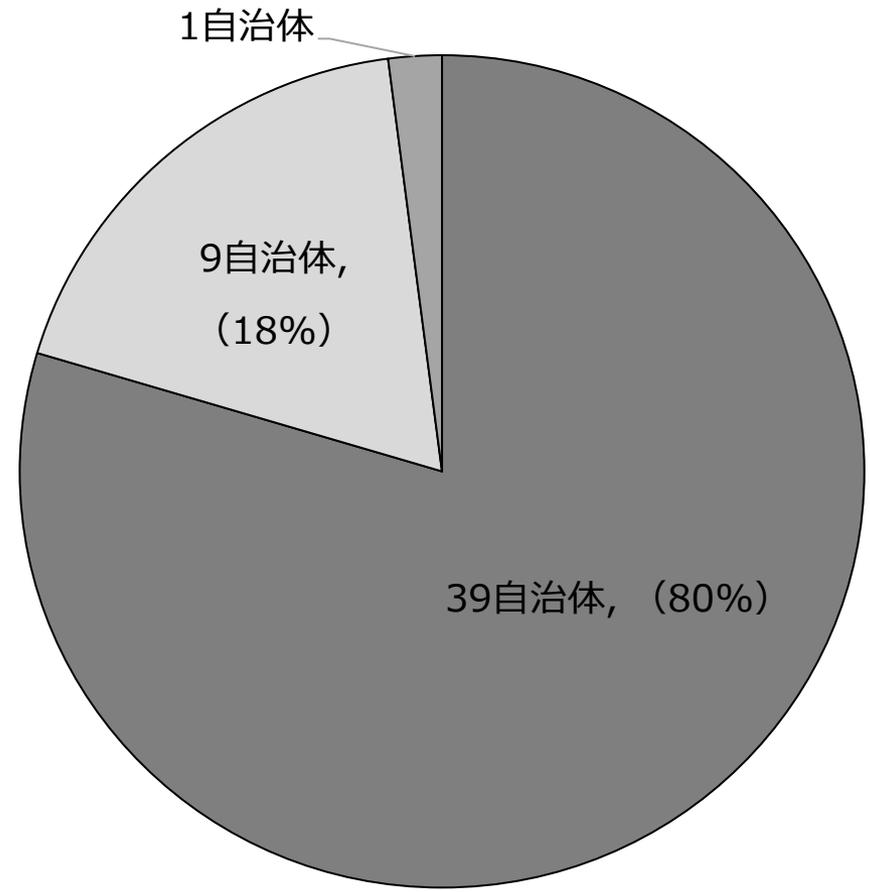
N = 61
 (把握しきれていない: 1自治体)

都内全体
 中央値: 4
 四分位範囲: 1-8

区部	市部	郡部・島しょ部
中央値: 5.5	中央値: 4	中央値: 0
四分位範囲: 3-15	四分位範囲: 3-13	四分位範囲: 0-1.5

設問 5 : 昨年度、新規に立ち上げた通いの場の継続状況

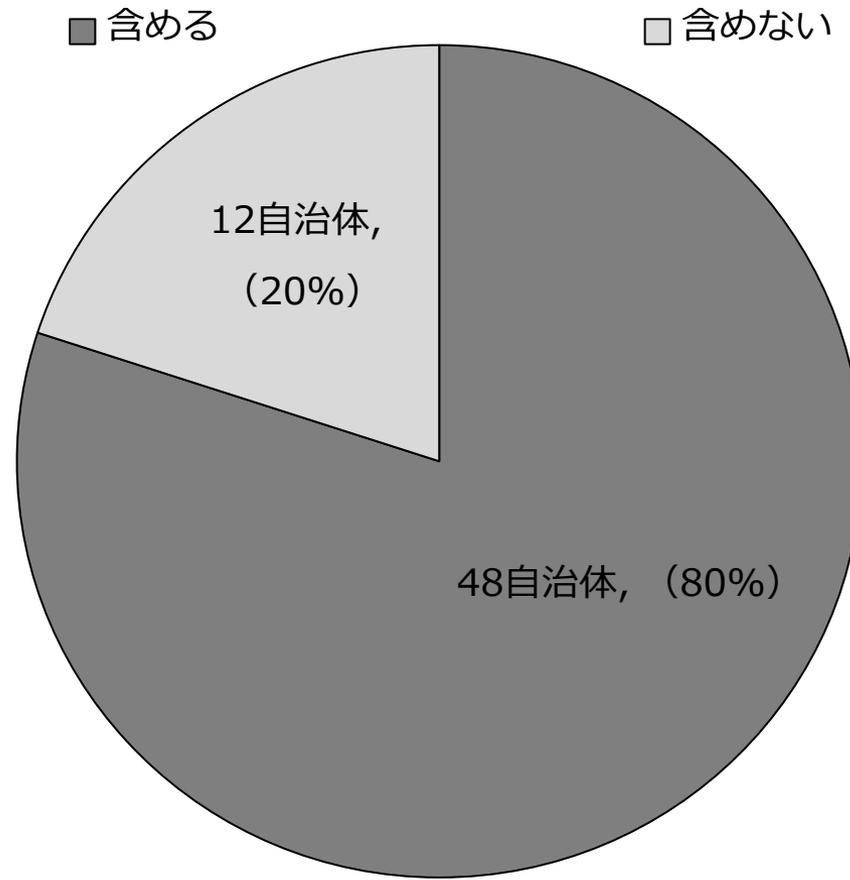
新たに立ち上がった通いの場の継続状況
■ すべて継続 □ 終了したところもある ■ 把握していない



N = 49
(新たに立ち上がった通いの場が1つ以上あった自治体)

設問 6 : 一般介護予防事業以外の財源で実施している通いの場の状況

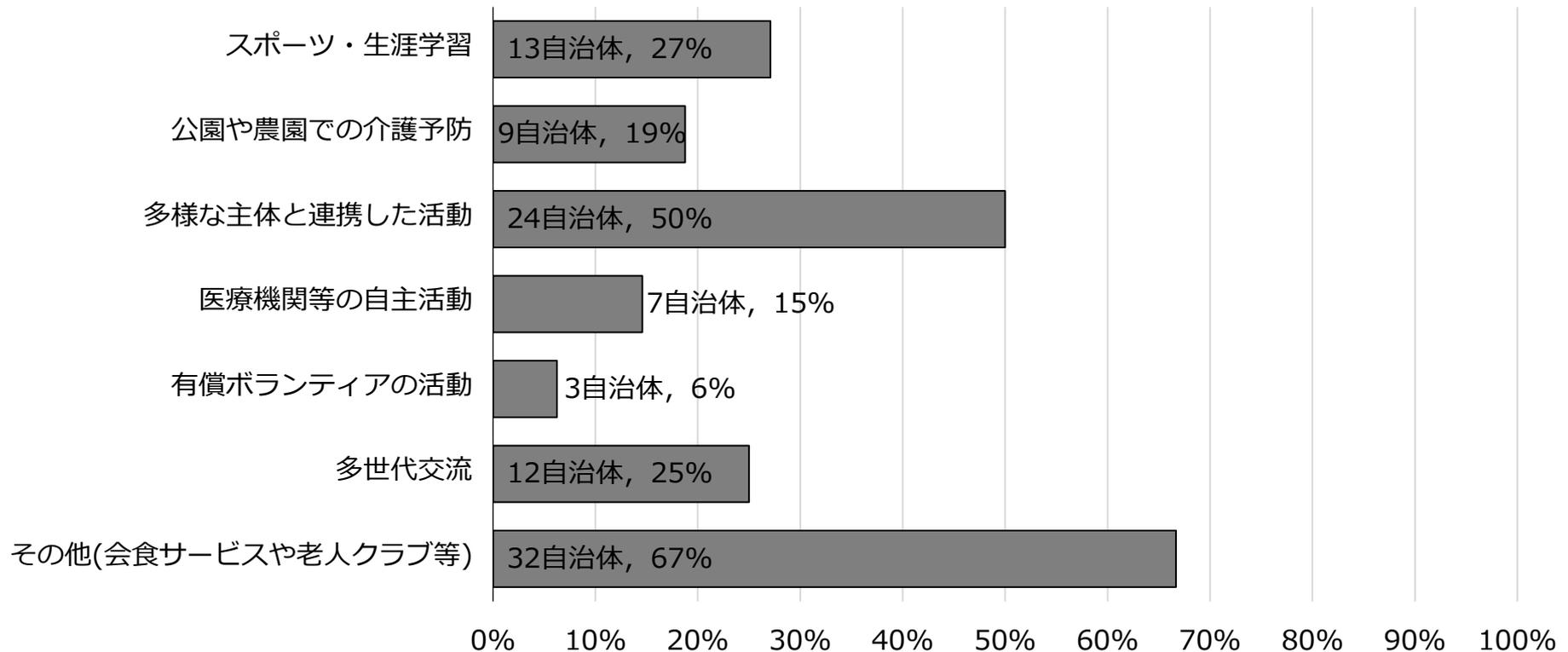
一般介護予防事業以外の財源で実施している事業を通いの場として合算するか



N = 60
(未回答・不明: 2自治体)

設問 7 : 一般介護予防事業以外の財源で実施している通いの場の状況

一般介護予防事業以外の財源で実施している事業の
通いの場の割合（複数回答）

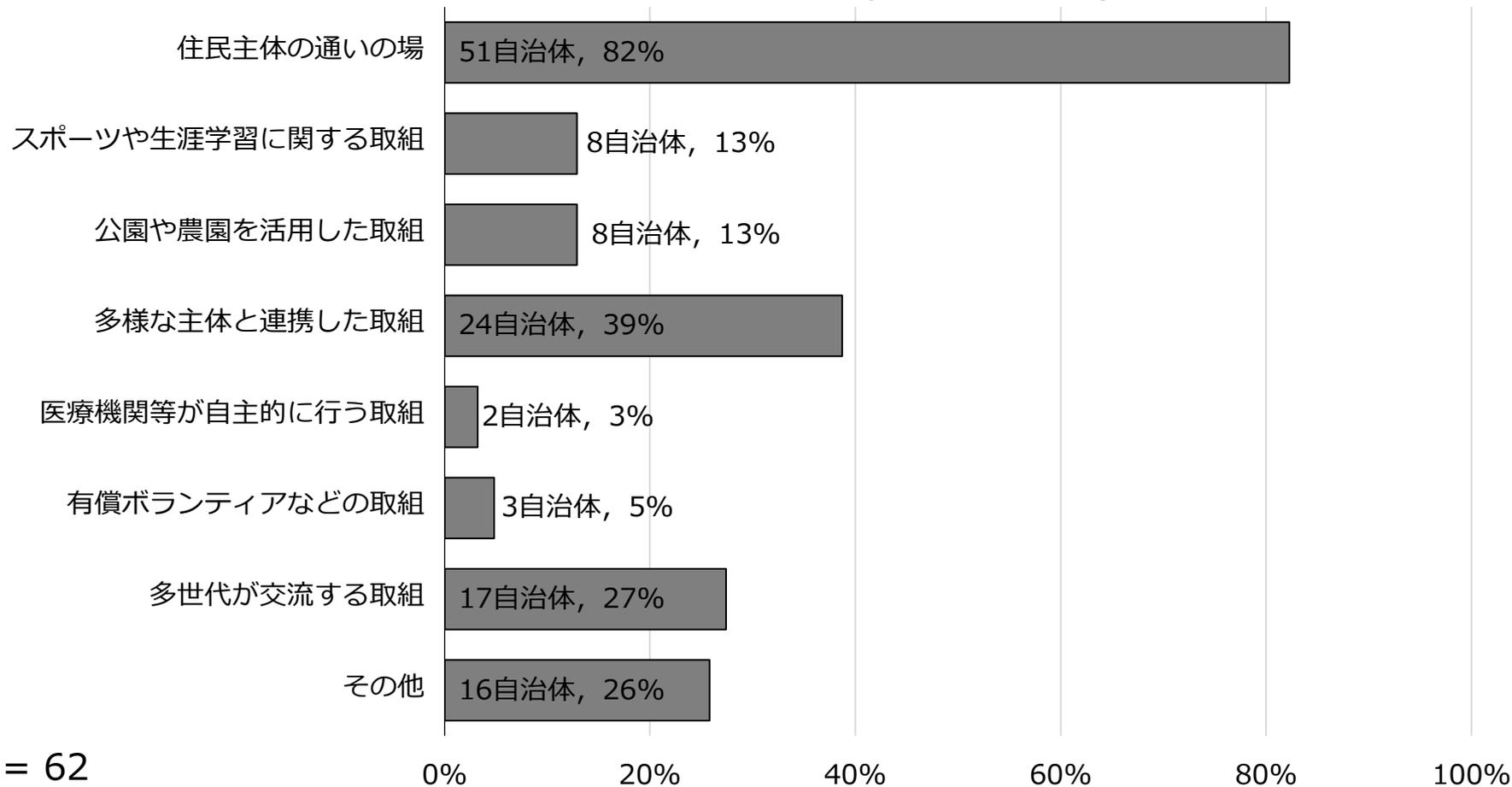


N = 48

(一般介護予防事業以外の財源で実施している事業を通いの場として合算すると回答した自治体)

設問 8 : 現在注力している通いの場の施策

注力している通いの場の施策（複数回答）



N = 62

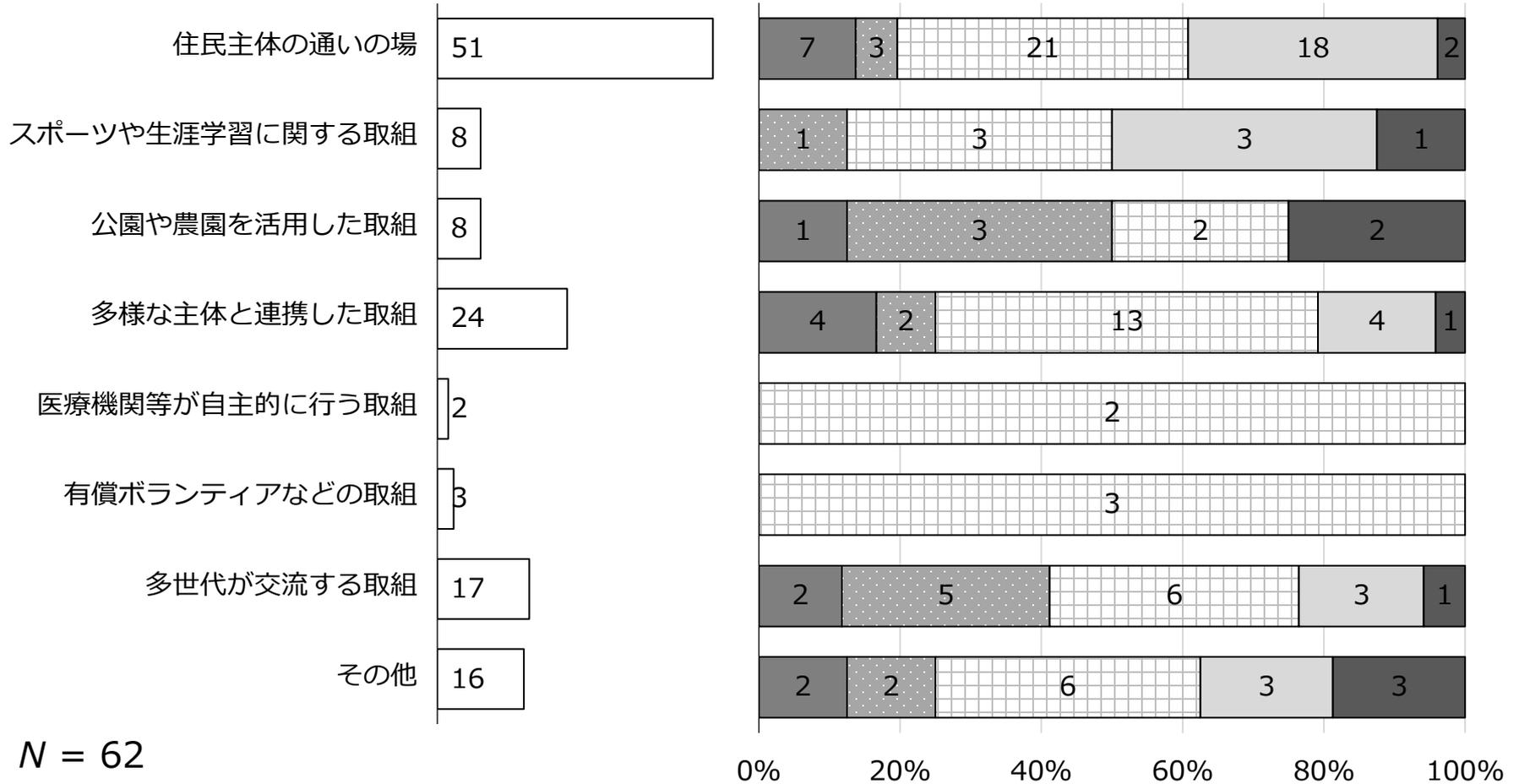
「その他」の内容

- 老人クラブ活動
- ボランティアポイント
- 食事サービス
- リハ職によるアウトリーチによる助言・支援
- 一般会計で実施する住民主体の通いの場
- オンライン活動

など

設問 9 : 現在注力している通いの場の施策の進捗状況

注力していると回答した通いの場の施策における進捗状況

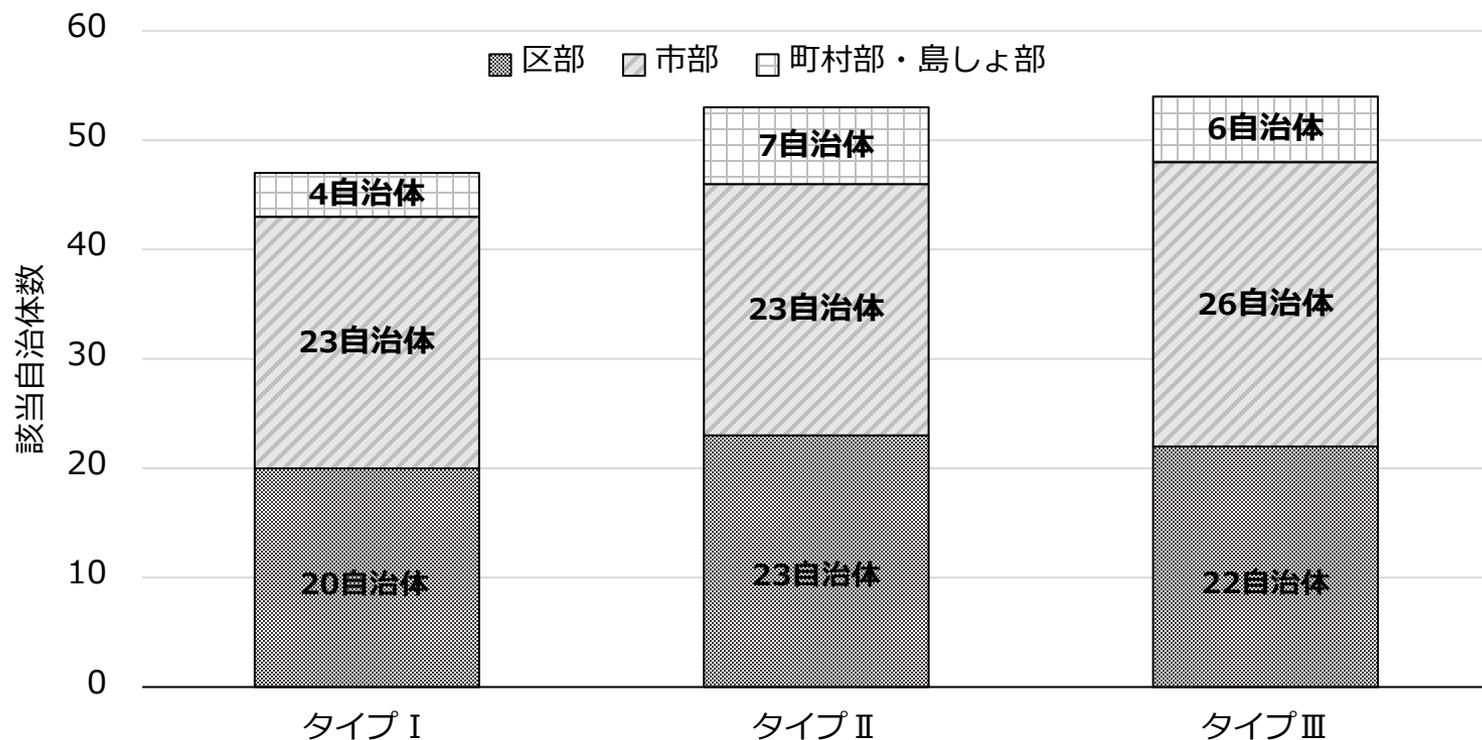


N = 62

- 具体的な取組を始めていないが、今年度取組む予定
- 立ち上げに向けた戦略策定協議や体制作りなどを準備中
- 立ち上げに係る取組を具体的に着手
- 通いの場の評価や効果分析を行い、戦略的に展開中 (順調に増加・十分にある)
- 未回答・不明

設問10：通いの場の主目的の把握状況

把握している主目的別の通いの場



N = 60 (未回答・不明: 2自治体)

タイプ I：共通の生きがい・楽しみを主目的にした活動。

⇒趣味活動（運動系、文化系活動等）、就労的活動、社会貢献活動など。

タイプ II：交流（孤立予防）を主目的とする活動。

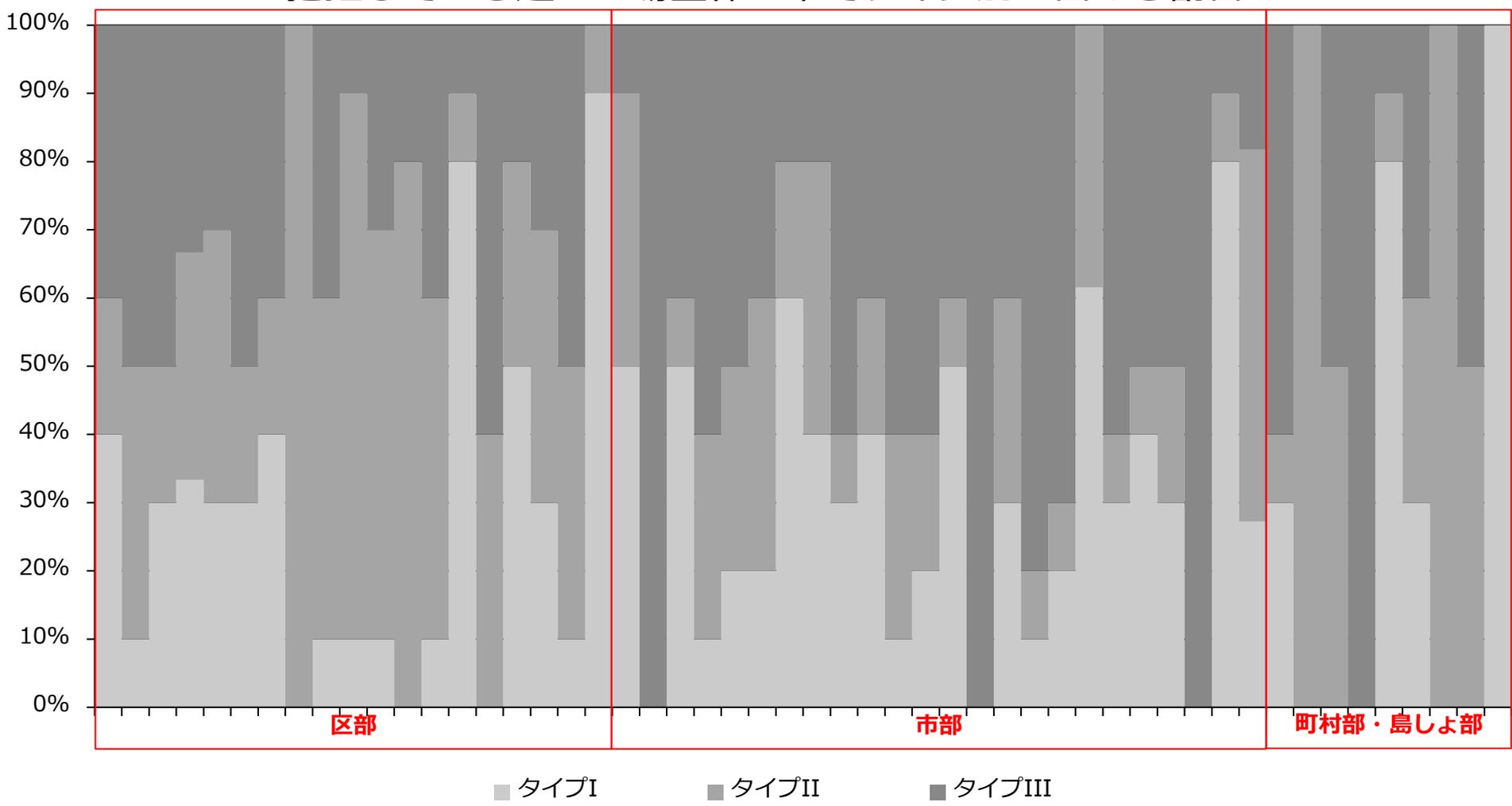
⇒住民組織が運営するサロン、地域の茶の間、老人クラブなど。

タイプ III：心身機能維持・向上などを主目的とした活動。

⇒住民組織が運営する体操グループ。

設問11：通いの場全体の中でタイプ別に占める割合

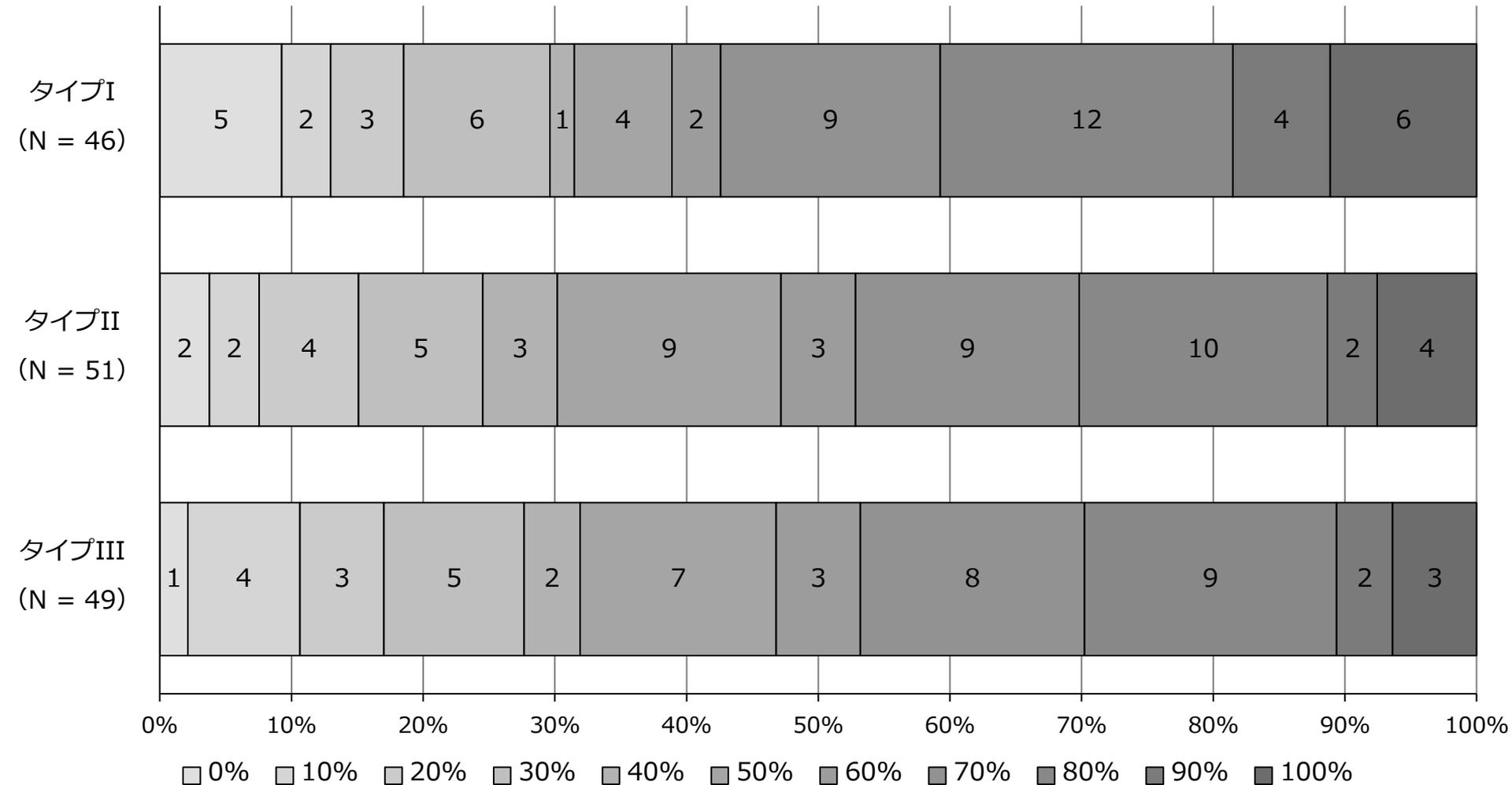
把握している通いの場全体の中でタイプ別に占める割合



N = 52 (いずれも把握していない: 10自治体)

設問12：自治体内にある通いの場全体のうち、 担当者が把握していると推測する通いの場の割合

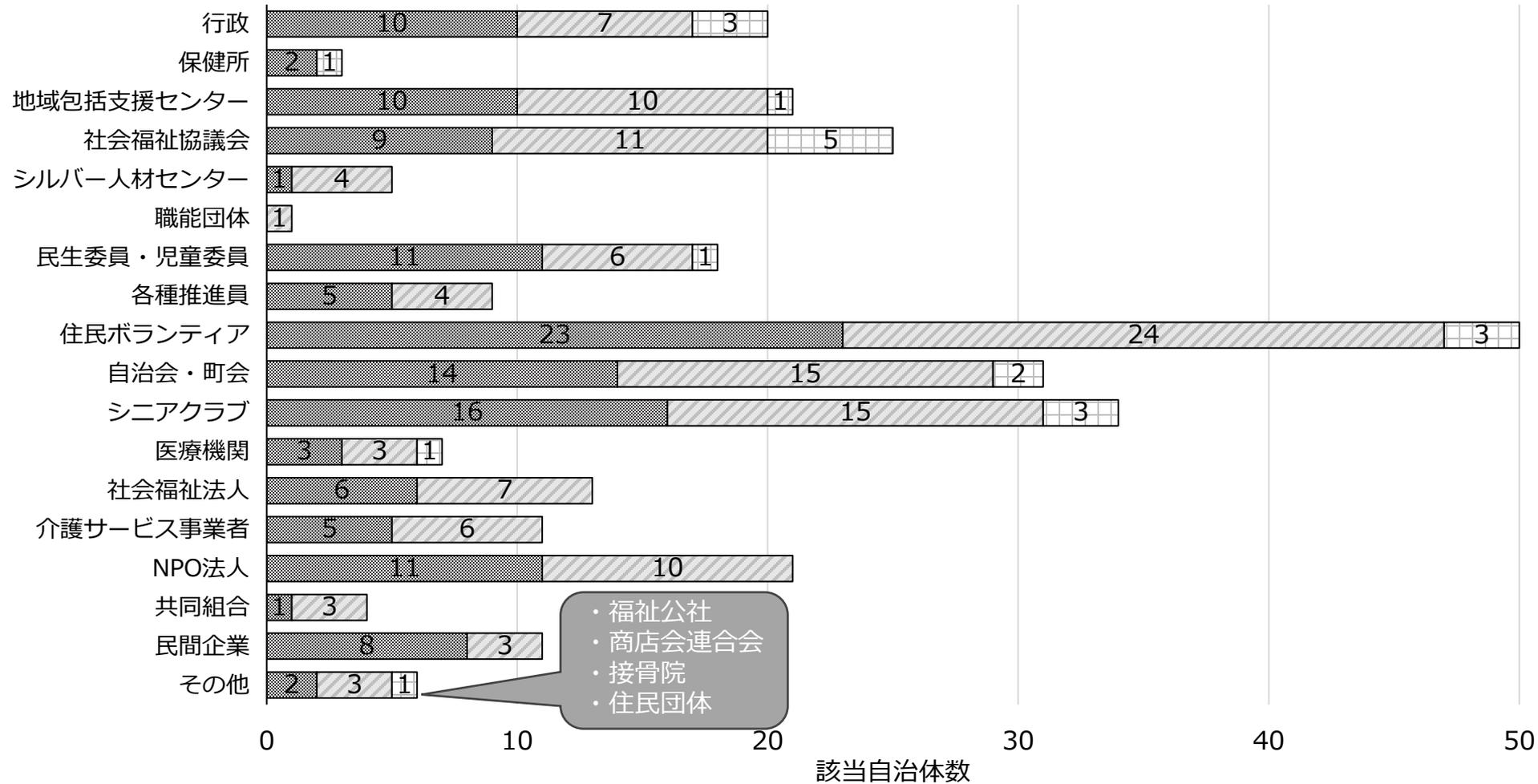
担当者が把握していると推測する通いの場の割合（場のタイプ別）



設問13：活動している通いの場の運営主体

把握している通いの場における運営主体（複数回答）

■ 区部 ■ 市部 □ 町村部・島しょ部



・ 福祉公社
 ・ 商店会連合会
 ・ 接骨院
 ・ 住民団体

N = 59

(未回答・不明: 2自治体)

(通いの場なし: 1自治体)

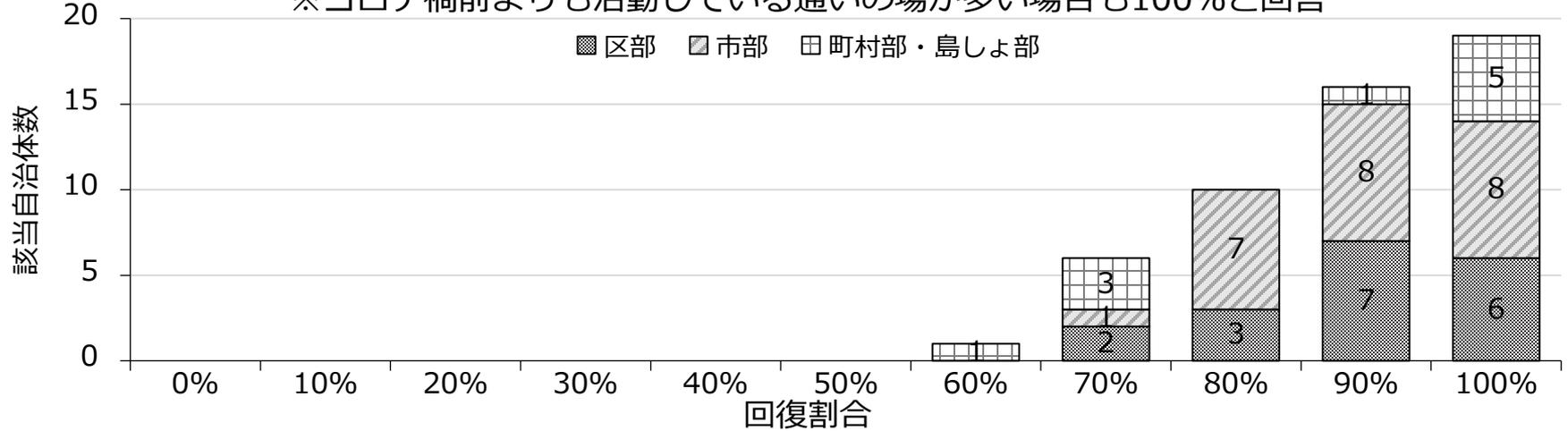
COVID-19関連 (通いの場の状況)

設問14～設問20

設問14,15：コロナ禍前(令和元年12月頃) と比べた 通いの場の回復状況

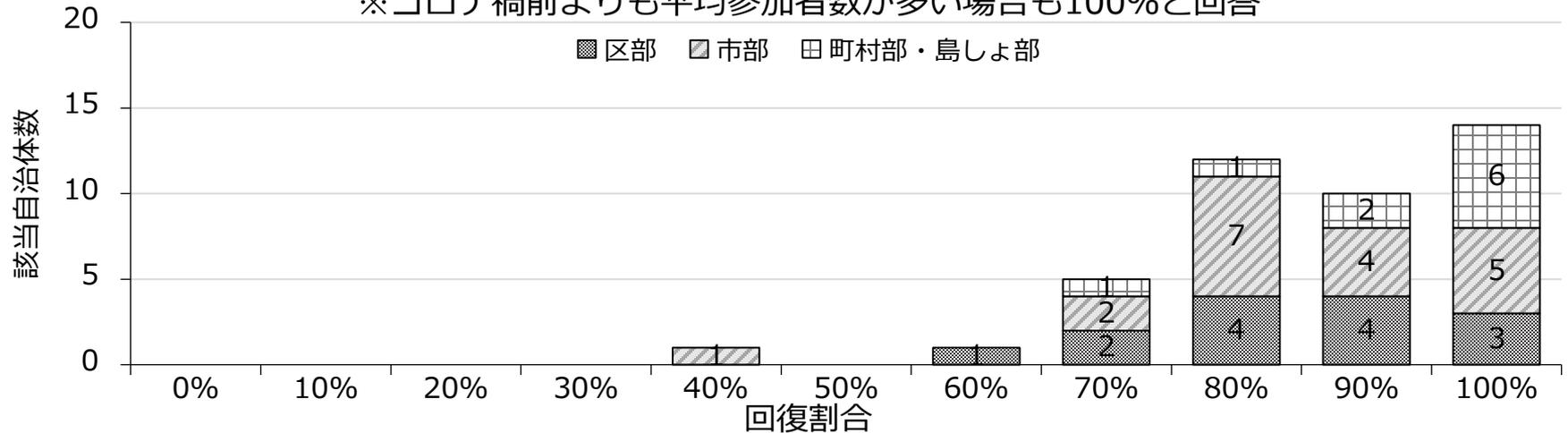
通いの場の活動の回復状況 (N = 52 ; 把握していない : 10)

※コロナ禍前よりも活動している通いの場が多い場合も100%と回答



参加する住民の回復状況 (N = 43 ; 把握していない : 19)

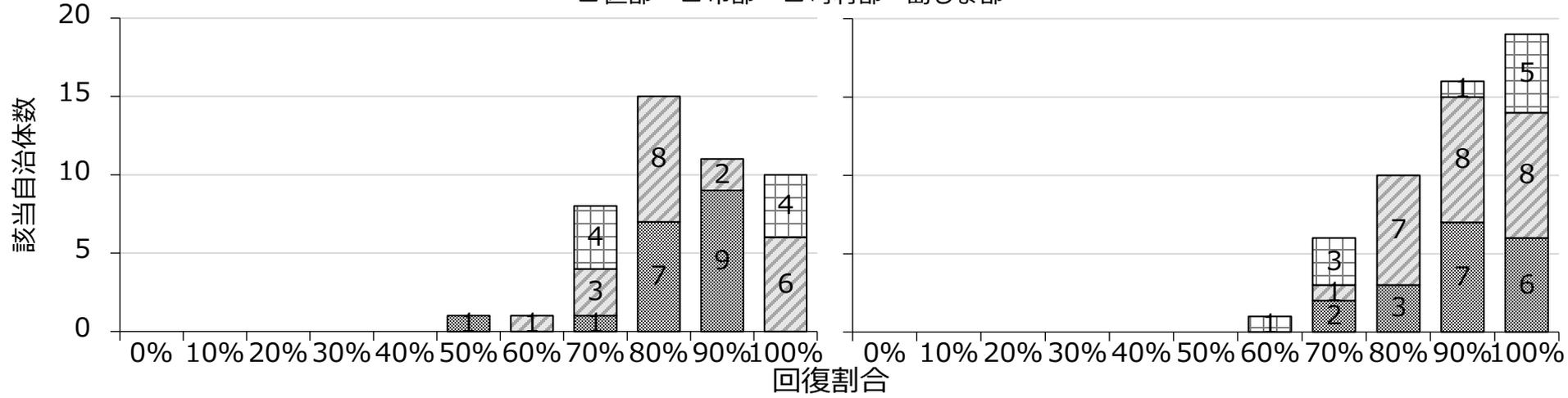
※コロナ禍前よりも平均参加者数が多い場合も100%と回答



設問14,15：コロナ禍前(令和元年12月頃) と比べた 通いの場の回復状況

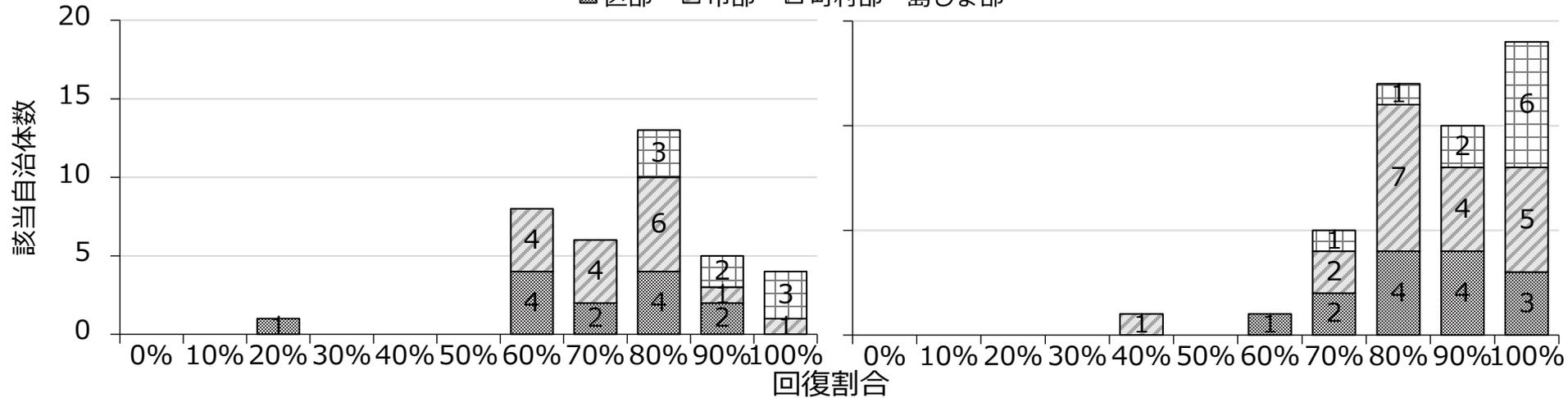
通いの場の活動の回復状況 (左：R4 ; 右：R5)

■区部 ■市部 □町村部・島しょ部



参加する住民の回復状況 (左：R4 ; 右：R5)

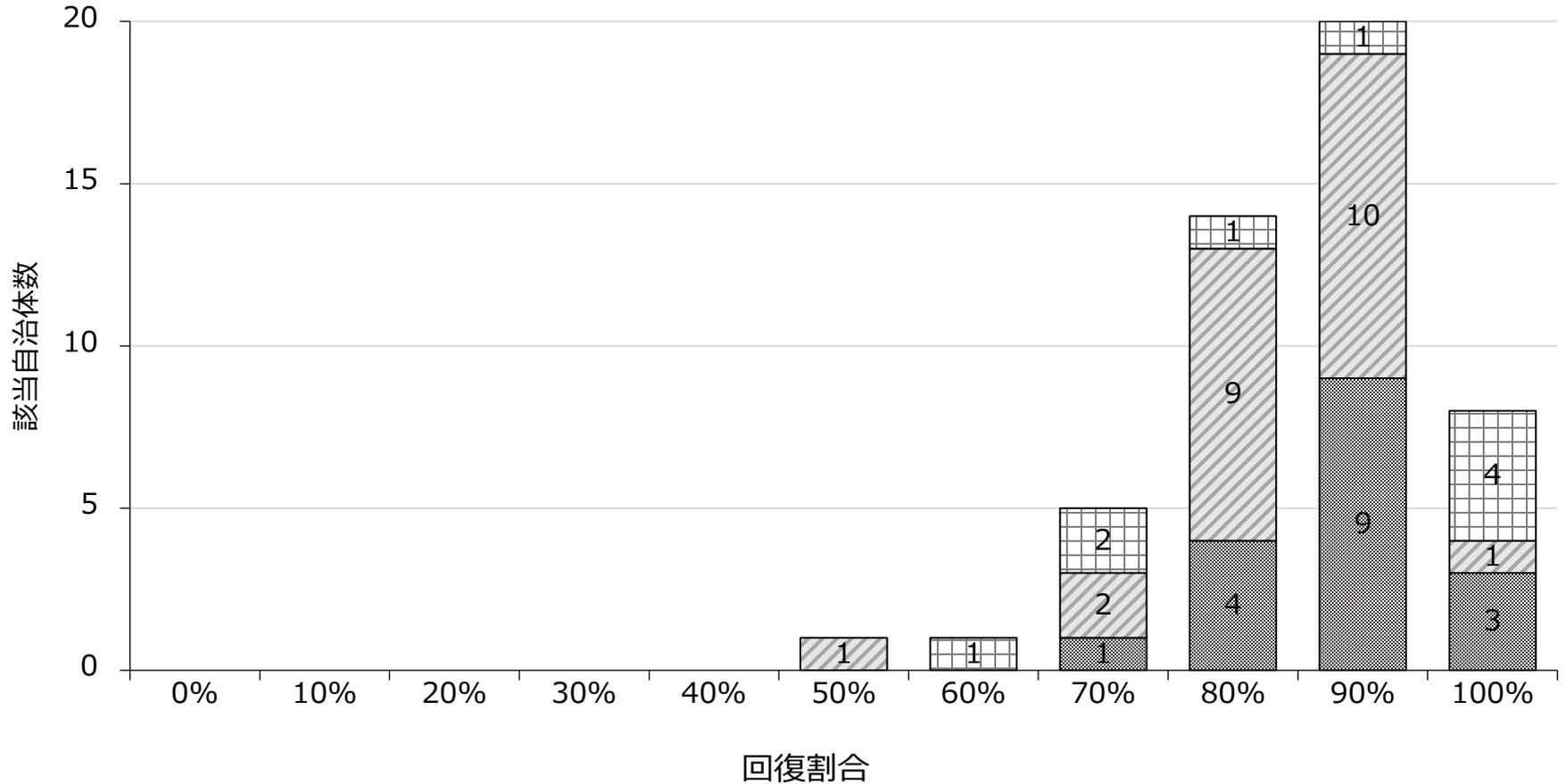
■区部 ■市部 □町村部・島しょ部



設問16：コロナ禍前(令和元年12月頃) から活動している通いの場の再開率

コロナ禍前から活動している通いの場の活動の再開率

■ 区部 ■ 市部 □ 町村部・島しょ部

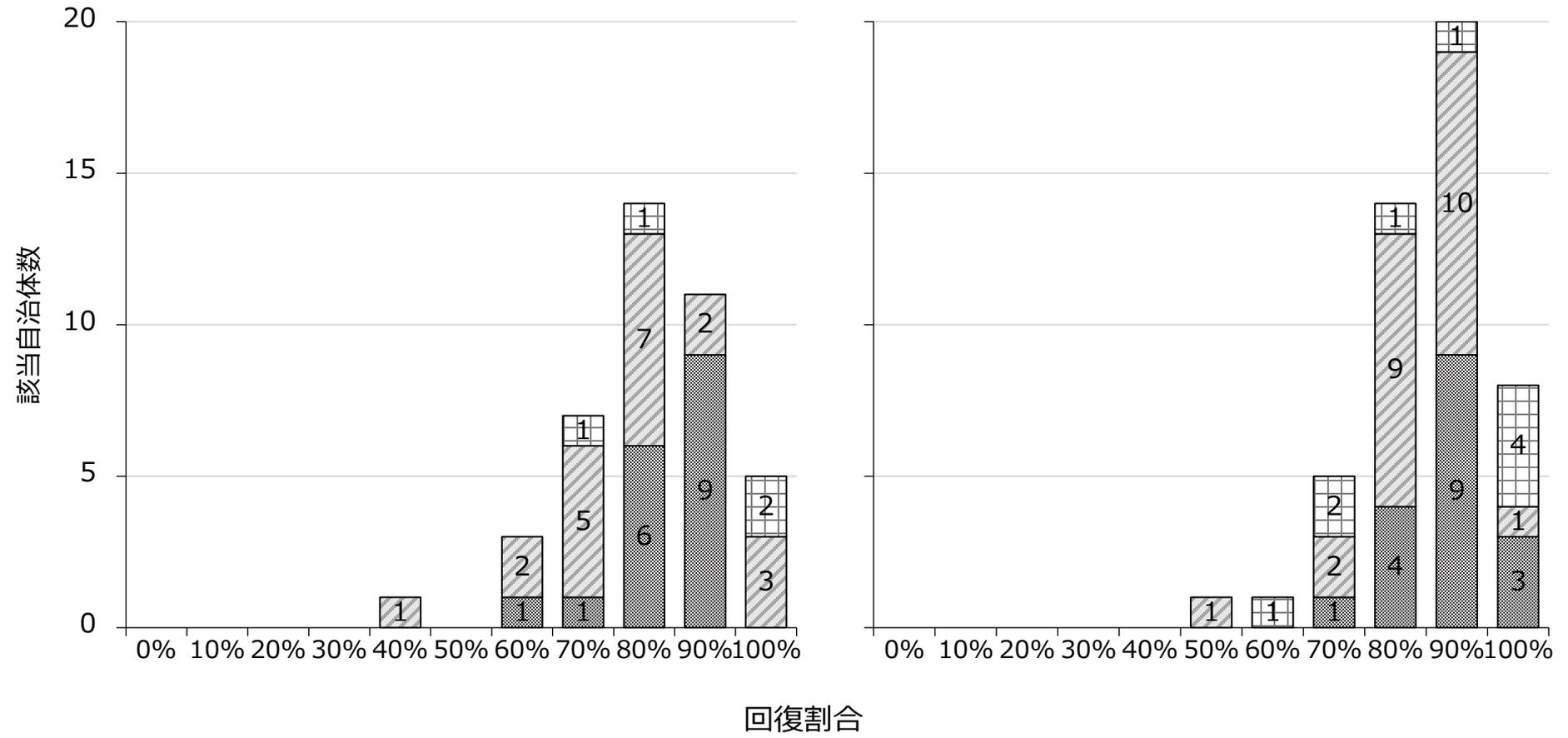


N = 49
(把握していない: 13自治体)

設問16：コロナ禍前(令和元年12月頃) から活動している通いの場の再開率

コロナ禍前から活動している通いの場の活動の再開率 (左：R4；右：R5)

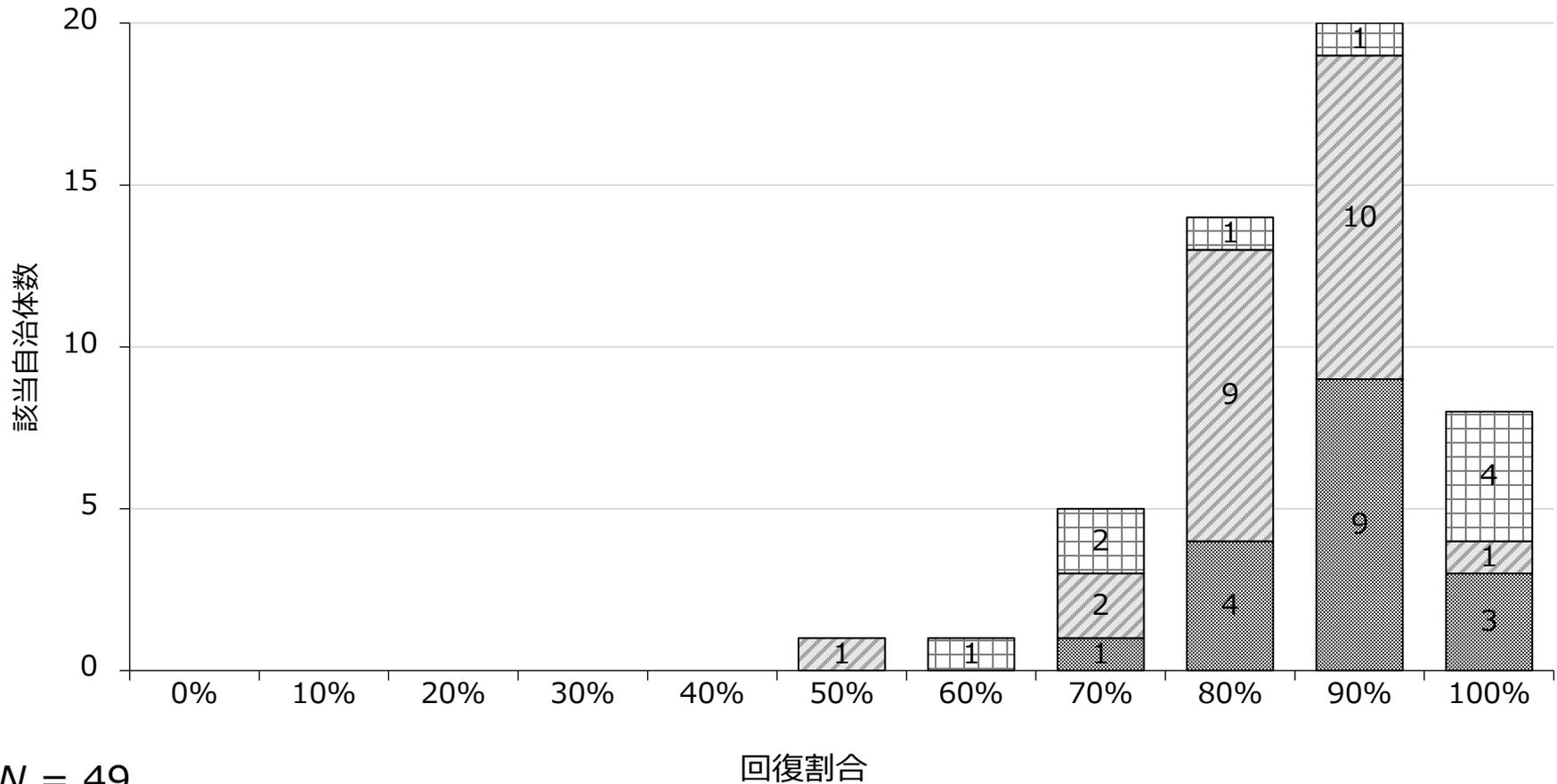
■ 区部 ■ 市部 □ 町村部・島しょ部



設問17,18 : コロナ禍に立ち上がった通いの場の継続状況

コロナ禍前から活動している通いの場の活動の再開率

■ 区部 ■ 市部 □ 町村部・島しょ部



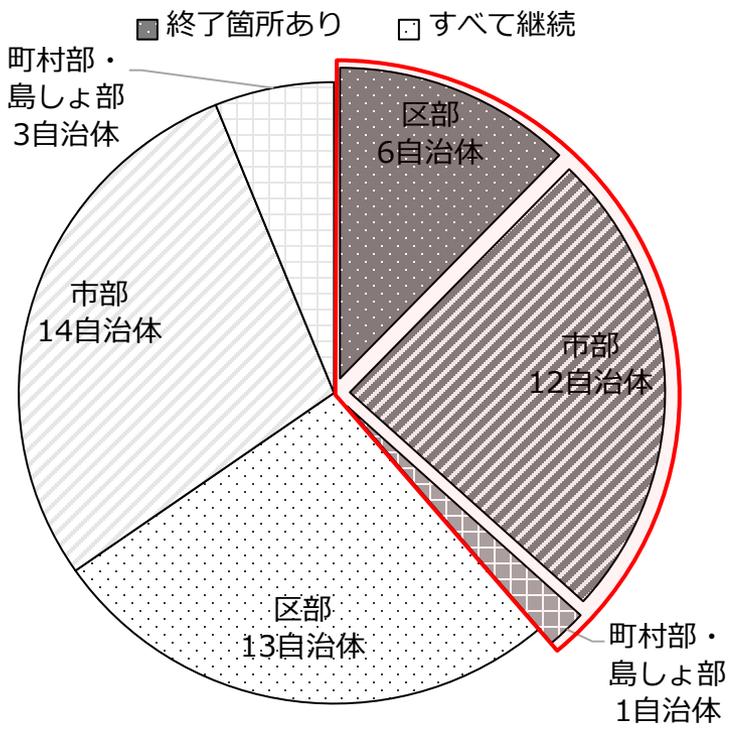
N = 49

(立ち上がっていない: 6自治体)

(未回答・不明: 7自治体)

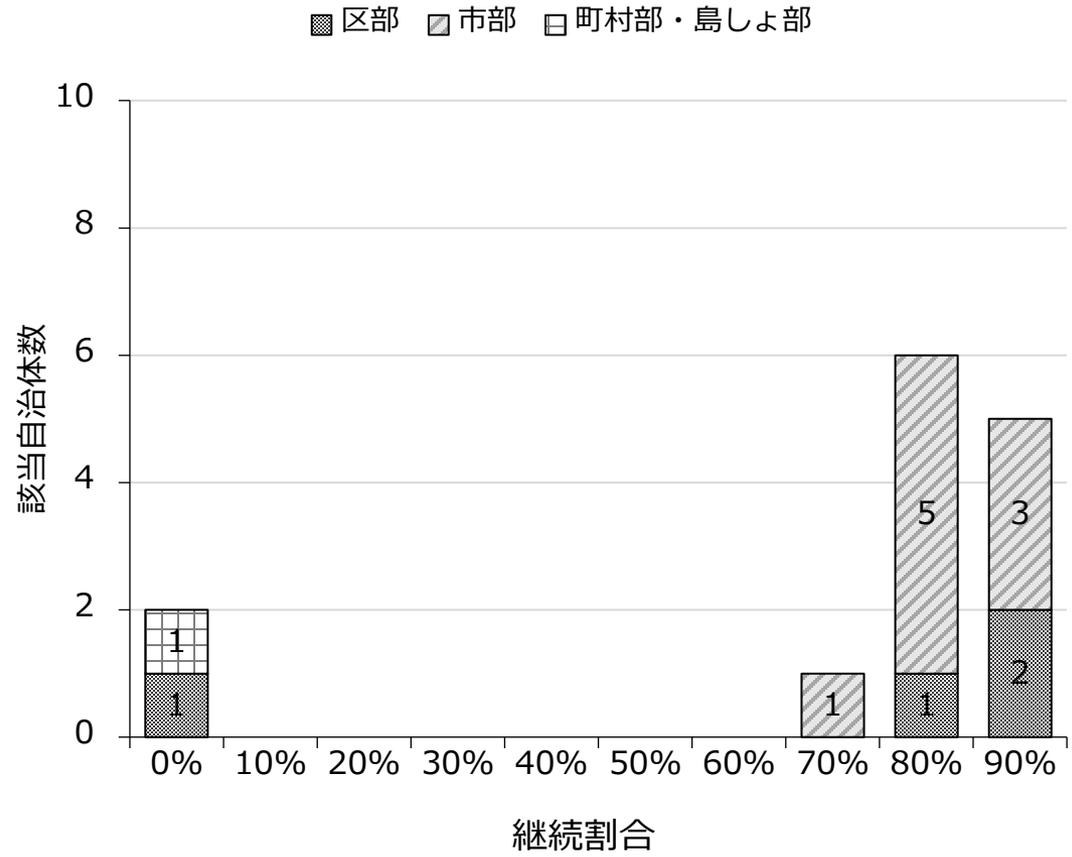
設問17,18 : コロナ禍に立ち上がった通いの場の継続状況

コロナ禍に立ち上がった
通いの場の継続状況



N = 49
 (立ち上がっていない: 6自治体)
 (未回答・不明: 7自治体)

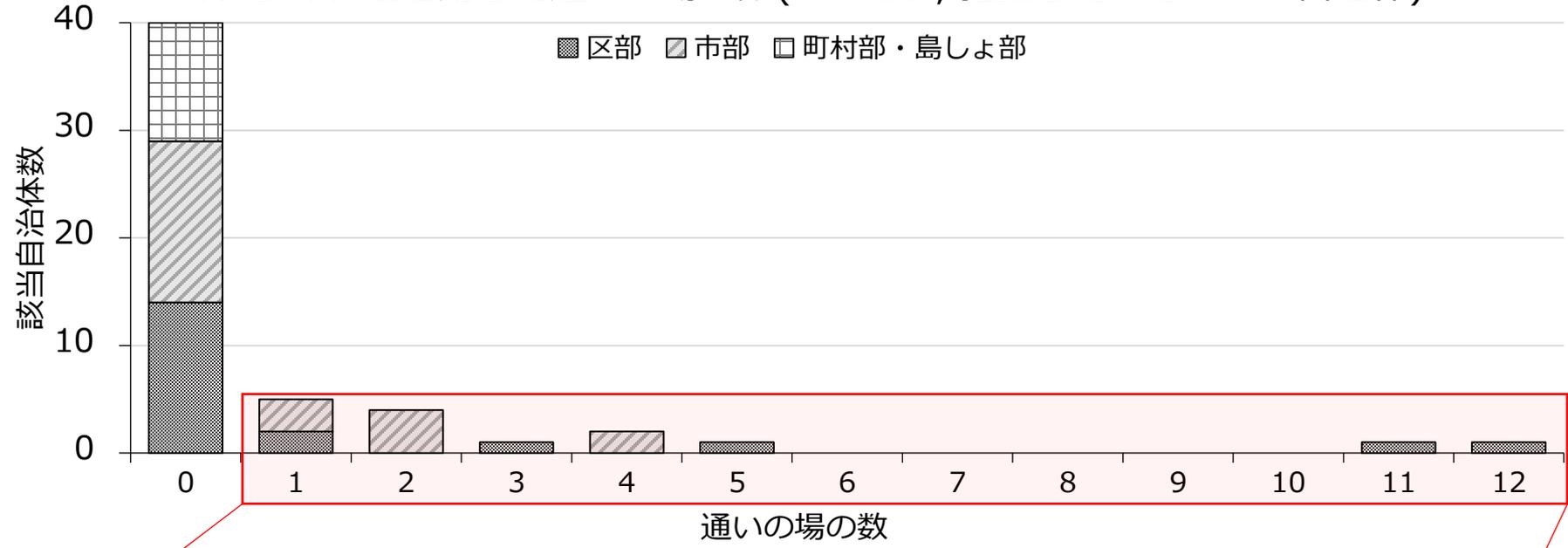
コロナ禍に立ち上がった通いの場の継続割合



N = 14
 (終了した通いの場があった自治体のうち、
 継続割合を把握していた自治体)

設問19,20：コロナ禍に立ち上がったオンラインを活用した通いの場とその継続割合

オンラインを活用した通いの場の数(N = 55 ; 把握していない：7自治体)



オンラインを活用した通いの場の継続割合 (N = 15)

自治体名	場の数	継続割合	自治体名	場の数	継続割合	自治体名	場の数	継続割合
練馬区	12	80%	文京区	3	100%	千代田区	1	100%
新宿区	11	100%	武蔵野市	2	100%	荒川区	1	100%
板橋区	5	60%	町田市	2	—	昭島市	1	100%
八王子市	4	100%	小金井市	2	100%	日野市	1	100%
三鷹市	4	100%	狛江市	2	50%	国立市	1	100%

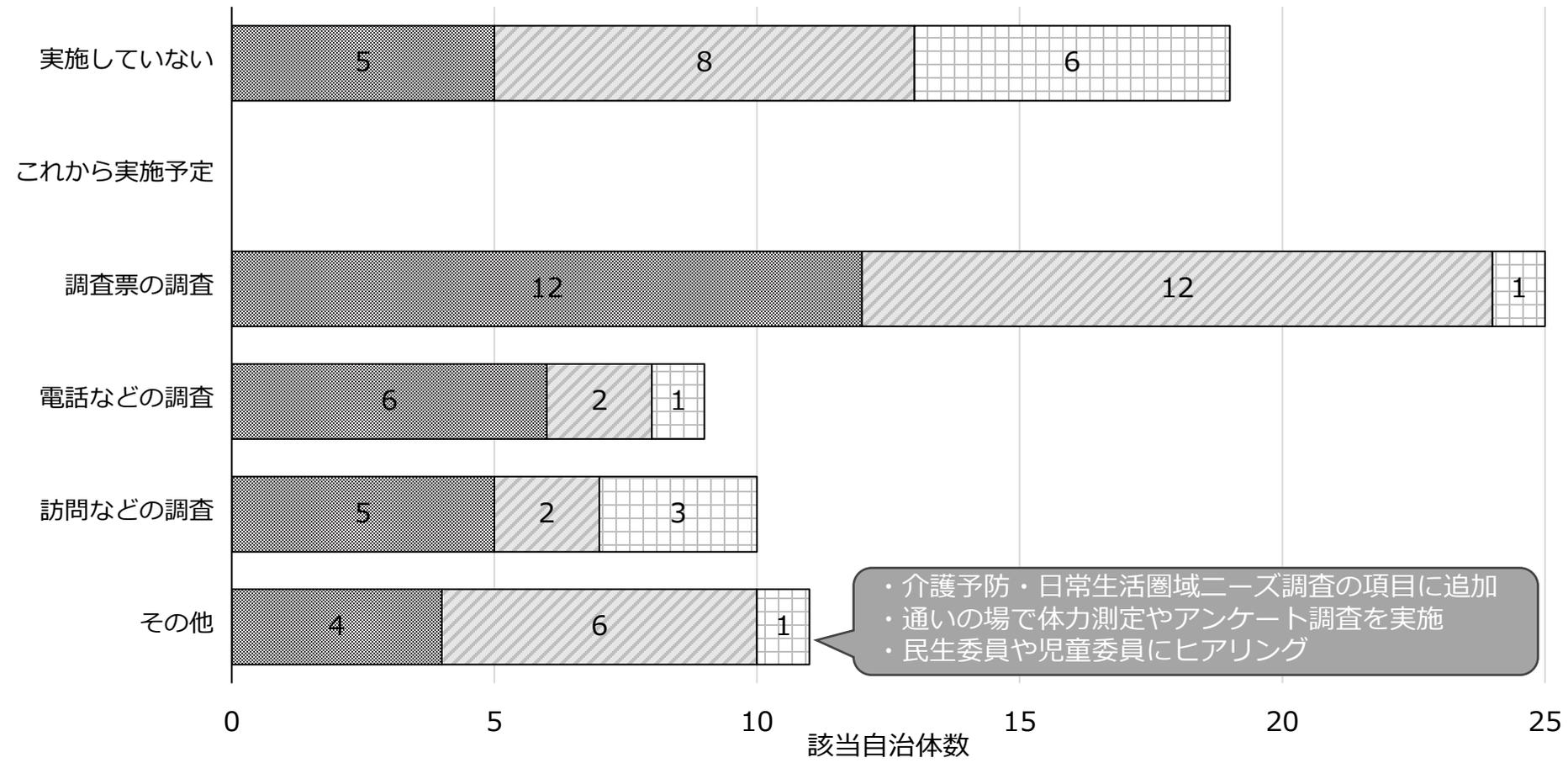
COVID-19関連 (高齢者の生活実態の把握)

設問21～設問25

設問21：高齢者に対するコロナ禍での心身の状況や生活実態の把握の実施状況

高齢者へのコロナ禍の実態把握の実施状況（複数回答）

■ 区部 □ 市部 □ 町村部・島しょ部



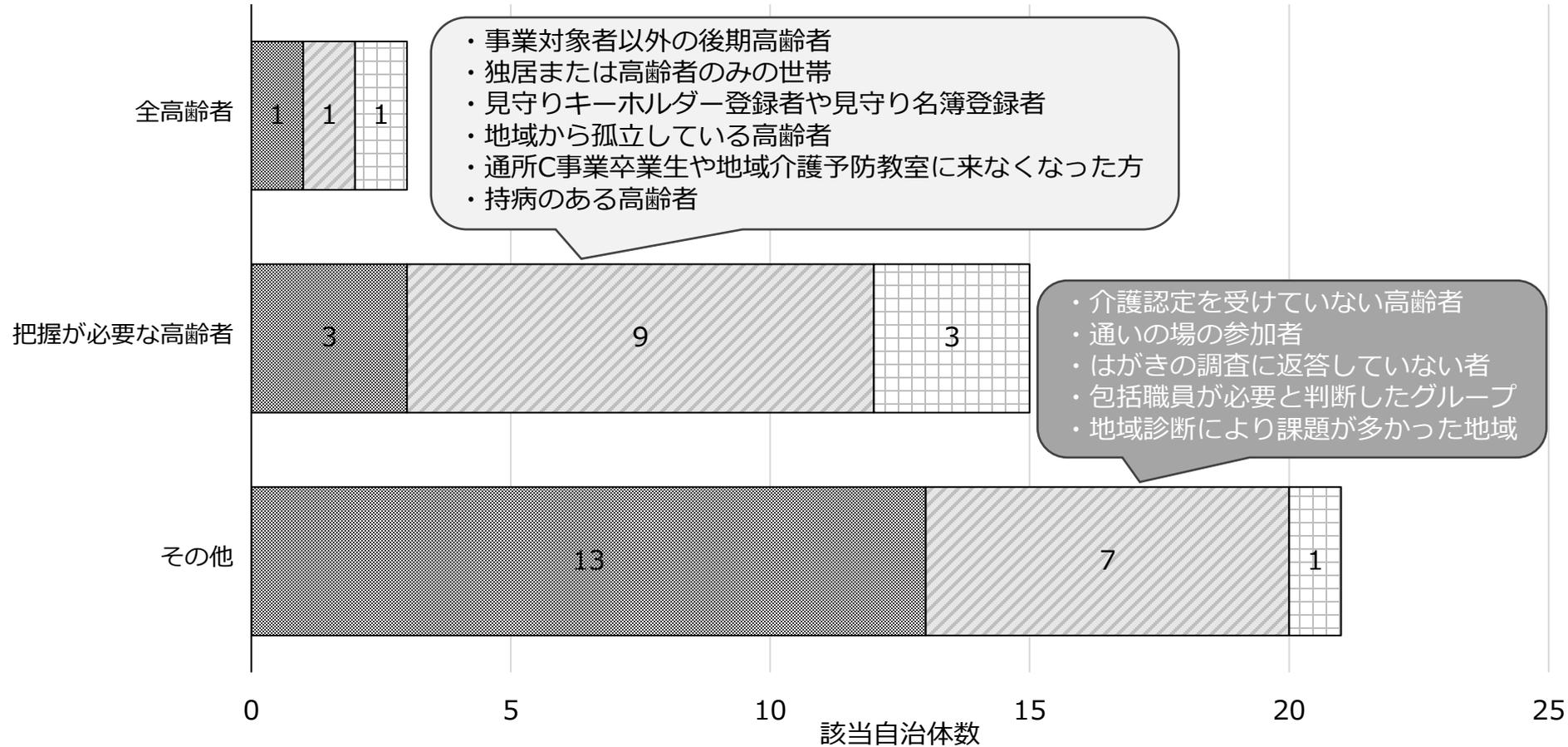
- ・介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の項目に追加
- ・通いの場で体力測定やアンケート調査を実施
- ・民生委員や児童委員にヒアリング

N = 60
(未回答・不明: 2自治体)

設問22：コロナ禍での心身の状況や生活実態の把握をした対象者

コロナ禍の実態を把握した対象者

■ 区部 □ 市部 □ 町村部・島しょ部



N = 40

(調査未実施：19自治体)

(未回答・不明：3自治体)

設問23：令和4年度に確認された新心機能低下の事例

-
- 教室などには参加できるものの、会場に来るまでの移動が困難
 - コロナの影響により体力の低下や筋力の低下
→公共施設が使えないことによる通いの場の中断
→外出頻度の低下
 - 転倒経験や転倒への不安が上昇
 - 認知機能の低下や認知症の進行
 - 口腔・栄養リスク者の増加
 - 人に会うことが億劫で交流意欲が低下
 - 通所C卒業生が1年後に要介護認定を受けていた

N = 26 (任意回答)

設問24：今後実施予定の心身状況や生活実態の把握

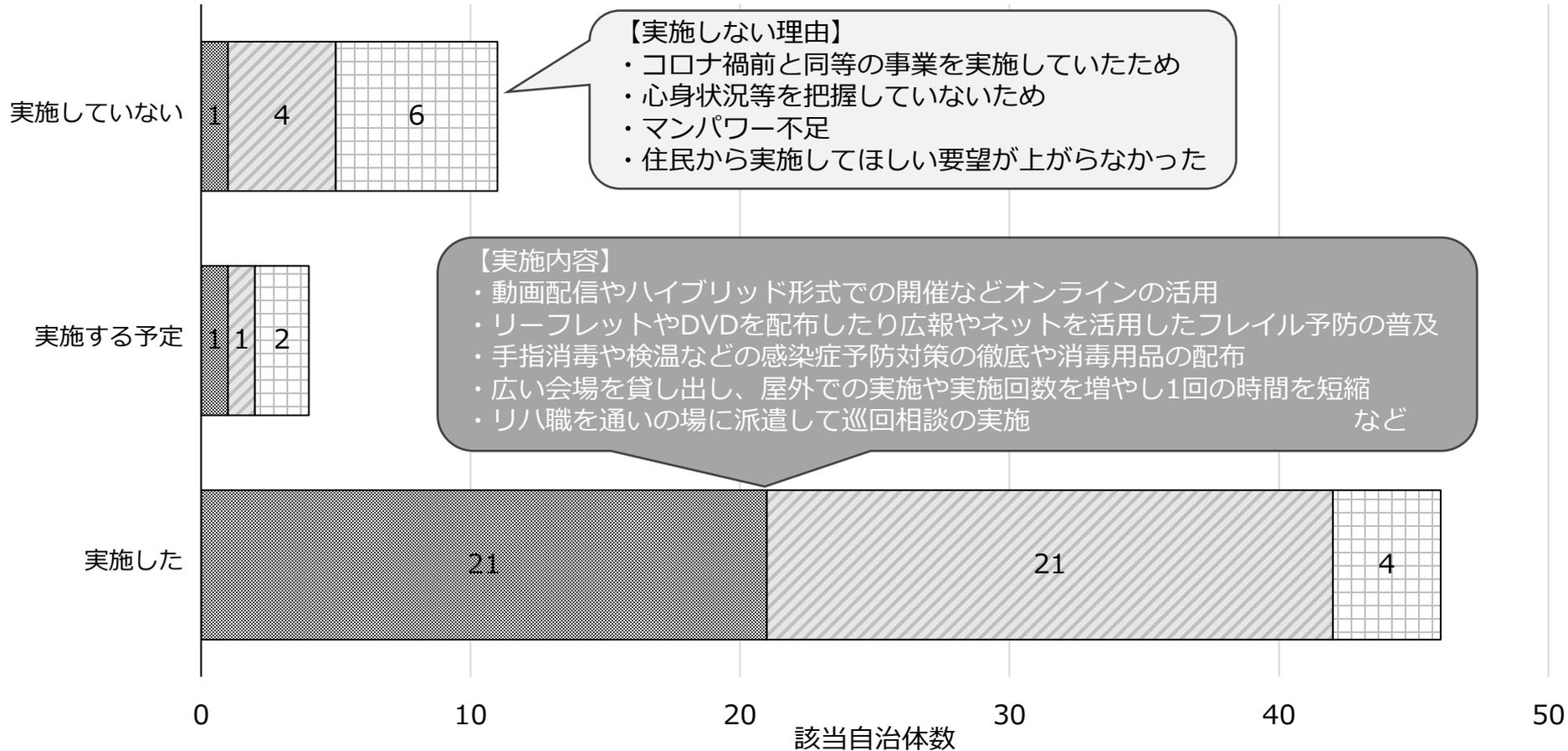
設問21にて実態把握を「これから実施予定」と回答した自治体が回答
→該当自治体なし

設問25：

コロナ禍での心身状況等を考慮した対策の実施状況

コロナ禍の実態を把握した対象者

■ 区部 □ 市部 □ 町村部・島しょ部



N = 61
(未回答・不明: 1自治体)